

烏山地区防災計画

[令和7年修正]

烏山地区

【烏山地区防災計画作成団体】

給田町会	給田西住宅管理組合	給田南住宅自治会
烏山上町会	コーシャハイム千歳烏山 住宅自治会	烏山中町会
北烏山2丁目アパート自治会	烏山寺院連合会	あやめ会
親和会	コートヒルズ久我山自治会	北烏山青葉団地管理組合
烏山北住宅自治会	烏山北住宅賃貸自治会	北烏山みむね管理組合
烏山下町会	千駄山町会	児ヶ谷会
コーシャハイム芦花公園自治会	芦花公園団地自治会	パークアベニュー芦花公園 自治会
日商岩井北烏山マンション 管理組合	烏山南住宅団地管理組合 法人防災会	久我山ガーデンヒルズ管理組合
烏山駅前通り商店街振興組合 地域防災部	区営北烏山8丁目アパート自治会地 域防災部	芦花公園パーク・ホームズ 管理組合防災本部
ネオコーポ芦花公園防災委員会	ザ・パークハウス千歳烏山 グローリオ管理組合	コーシャハイム久我山防災会

目 次

1 烏山地区の特性	烏山-1(-962-)
(1)自然特性	烏山-1(-962-)
(2)社会特性	烏山-2(-963-)
(3)地域危険度	烏山-4(-965-)
(4)被害想定	烏山-5(-966-)
(5)防災資源一覧	烏山-8(-969-)
(6)防災資源マップ	烏山-9(-970-)
(7)区民アンケート	烏山-10(-971-)
 2 各団体の防災活動～現在の取組状況～	烏山-19(-980-)
 3 烏山地区の課題と取り組み	烏山-29(-990-)
(1)日頃からの備え	烏山-29(-990-)
(2)在宅避難者対策	烏山-32(-993-)
(3)避難行動要支援者・要配慮者・けが人等の対策	烏山-34(-995-)
(4)避難所運営	烏山-36(-997-)

1. 烏山地区の特性

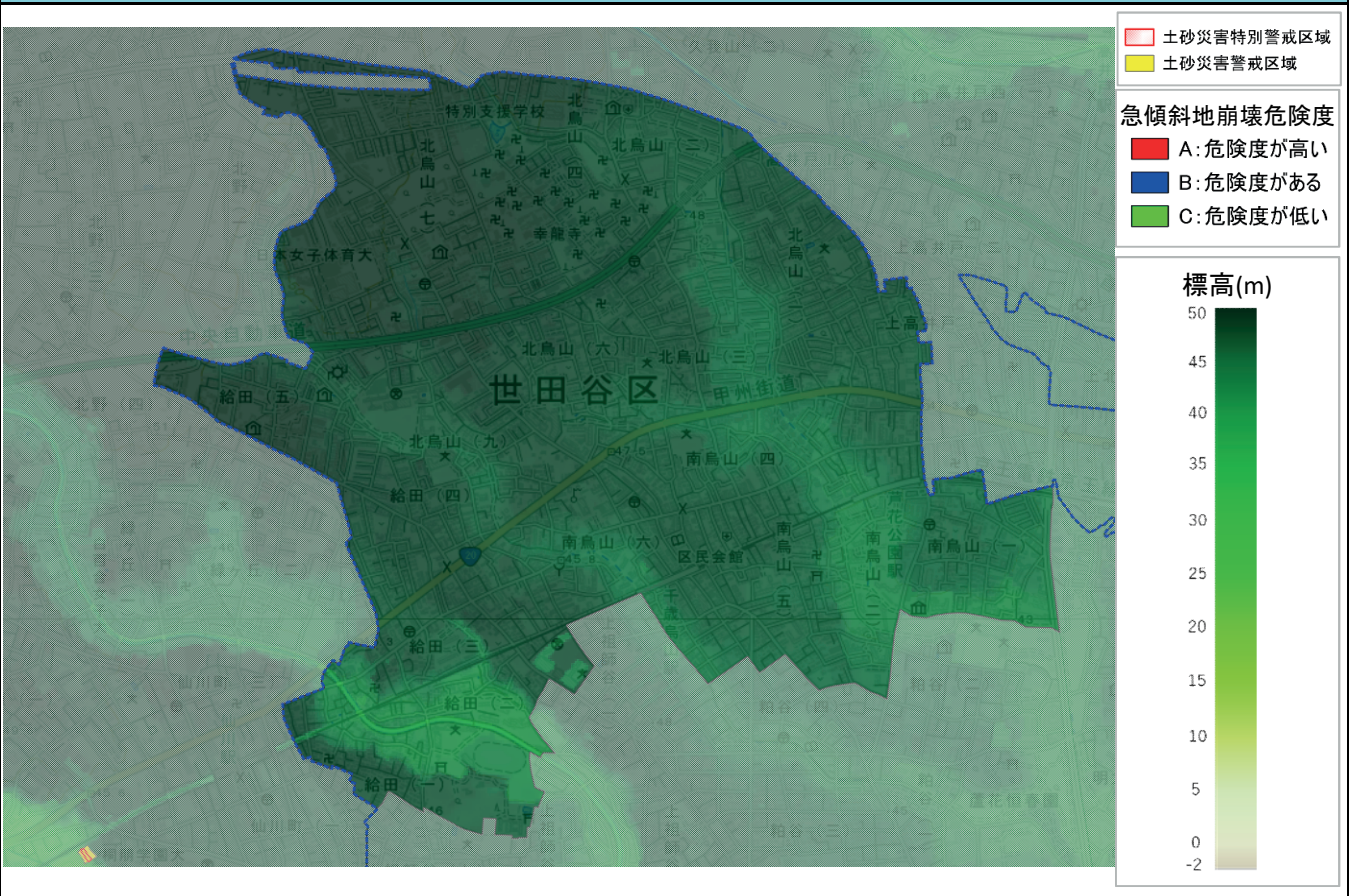
(1)自然特性

面積	3.84	Km ²	最高標高	52.4	m	最低標高	36.9	m
----	------	-----------------	------	------	---	------	------	---

位置



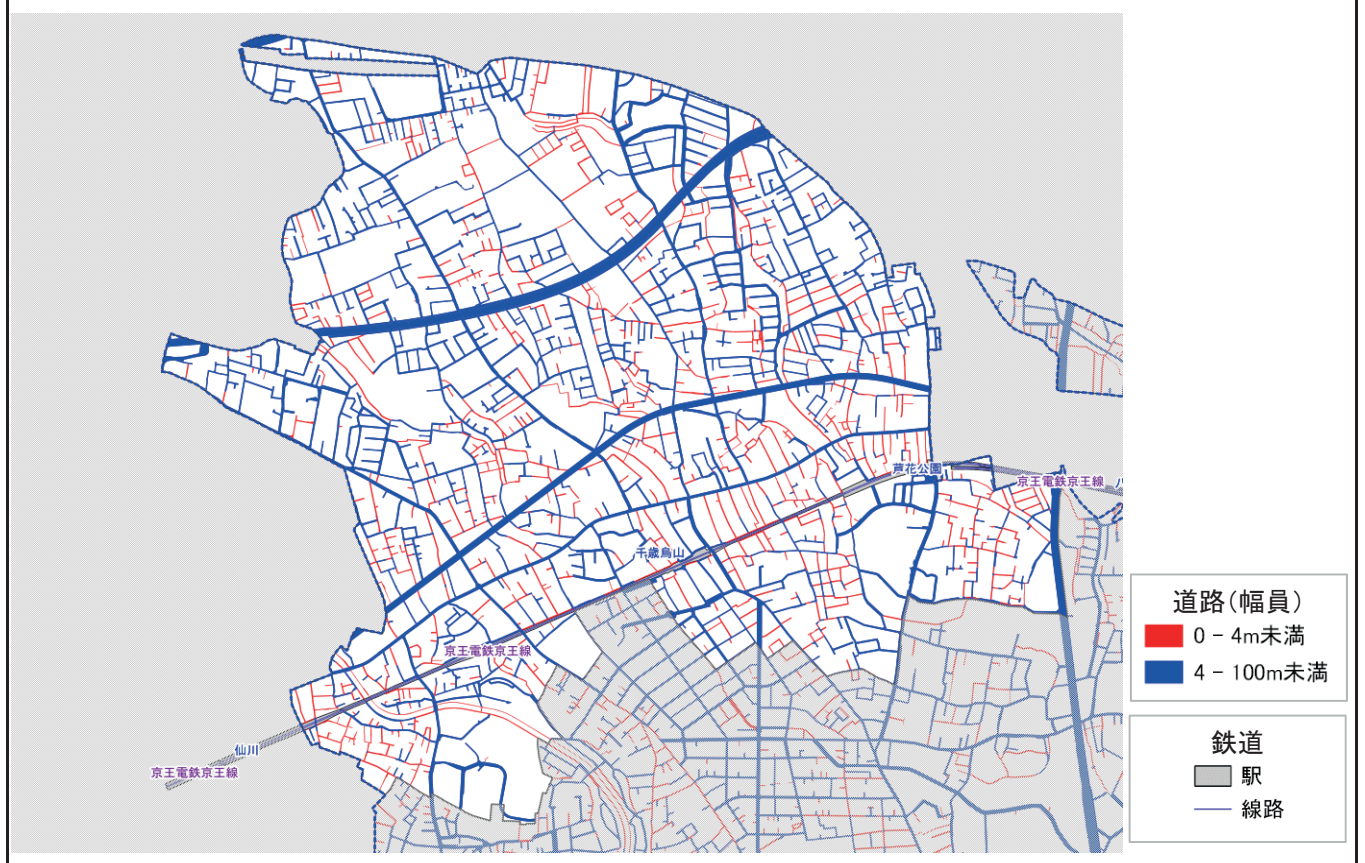
標高・急傾斜地崩壊危険度・土砂災害警戒区域等



(2)社会特性

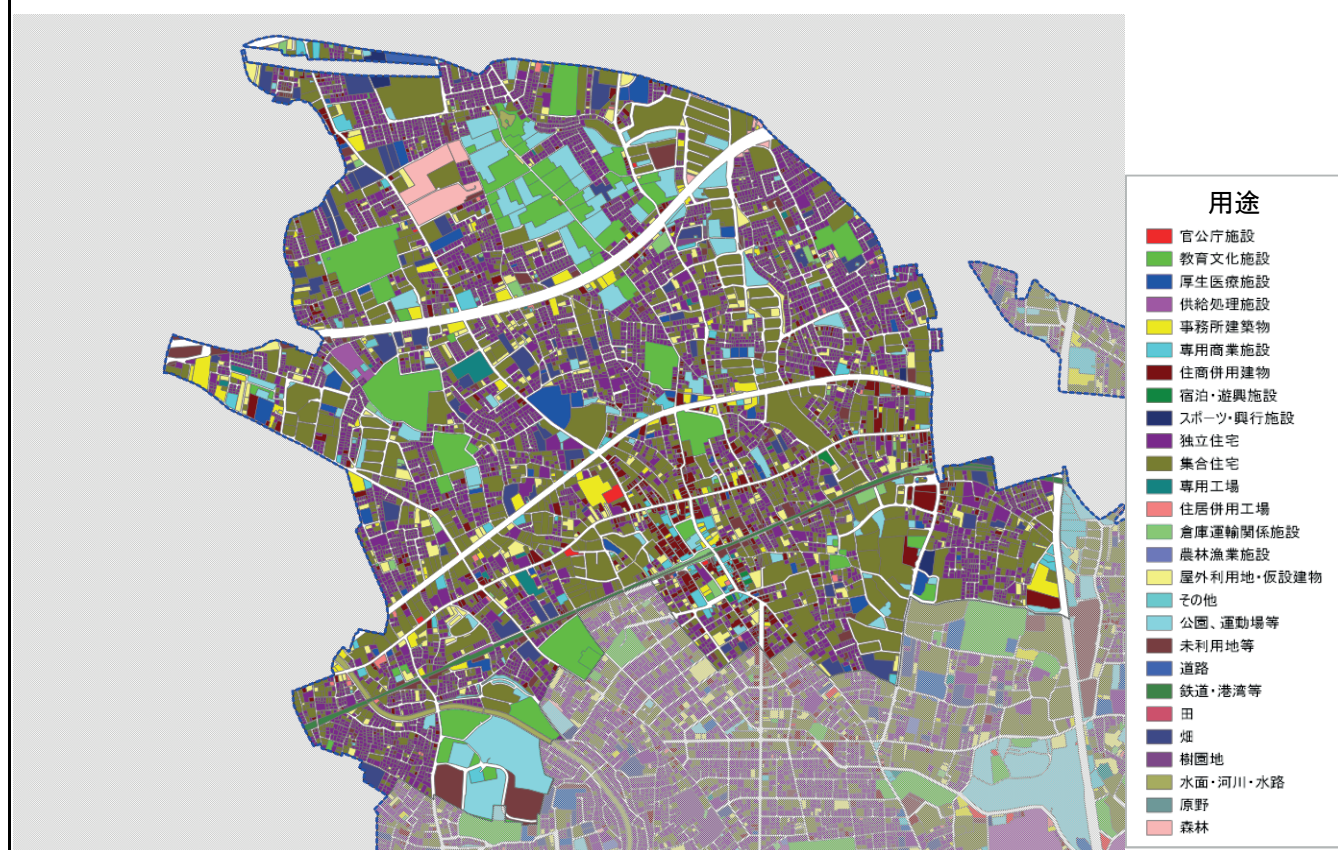
人口	63,048	人	細街路率	34.7	%
世帯数	34,974	世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	59.4	棟/Km ²
1世帯あたり	1.80	人	耐火率(建築面積ベース)	60.7	%
若年層数(15才未満)	6,721	人	土地利用(宅地)	65.4	%
若年層率(15才未満)	10.7	%	土地利用(宅地以外)	34.6	%
高齢者数(65才以上)	13,658	人	鉄道駅	京王線芦花公園駅 千歳烏山駅	
高齢者率(65才以上)	21.7	%			
昼間の人口	52,352	人	産業	商業	58.8 %
夜間の人口	65,599	人		工業	10.7 %
昼夜間人口比	0.80	-		農業	30.5 %
町会・自治会数	21	-			

道路・公共交通機関



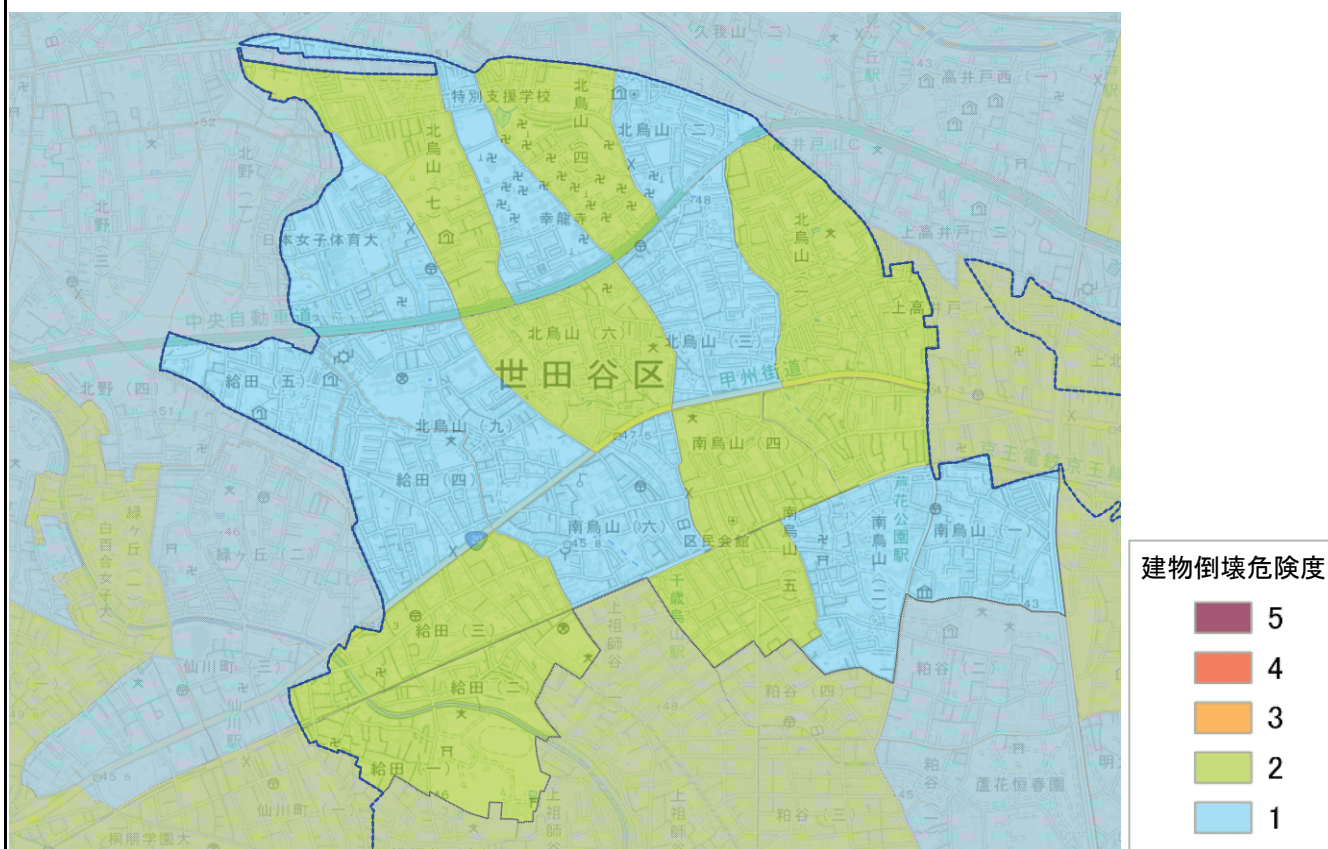
(2)社会特性

産業

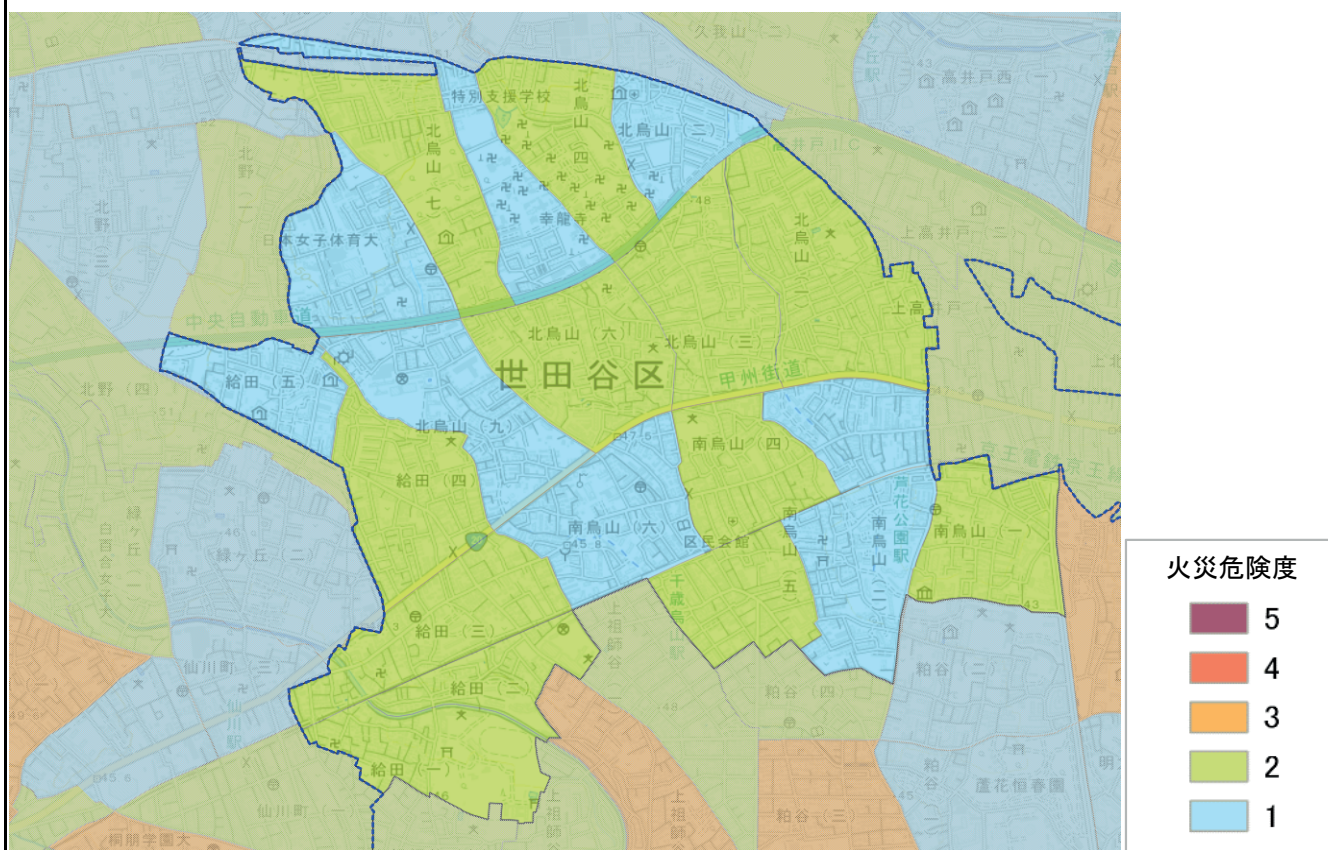


(3)地域危険度

建物倒壊危険度



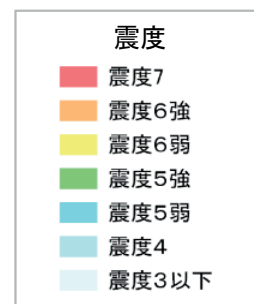
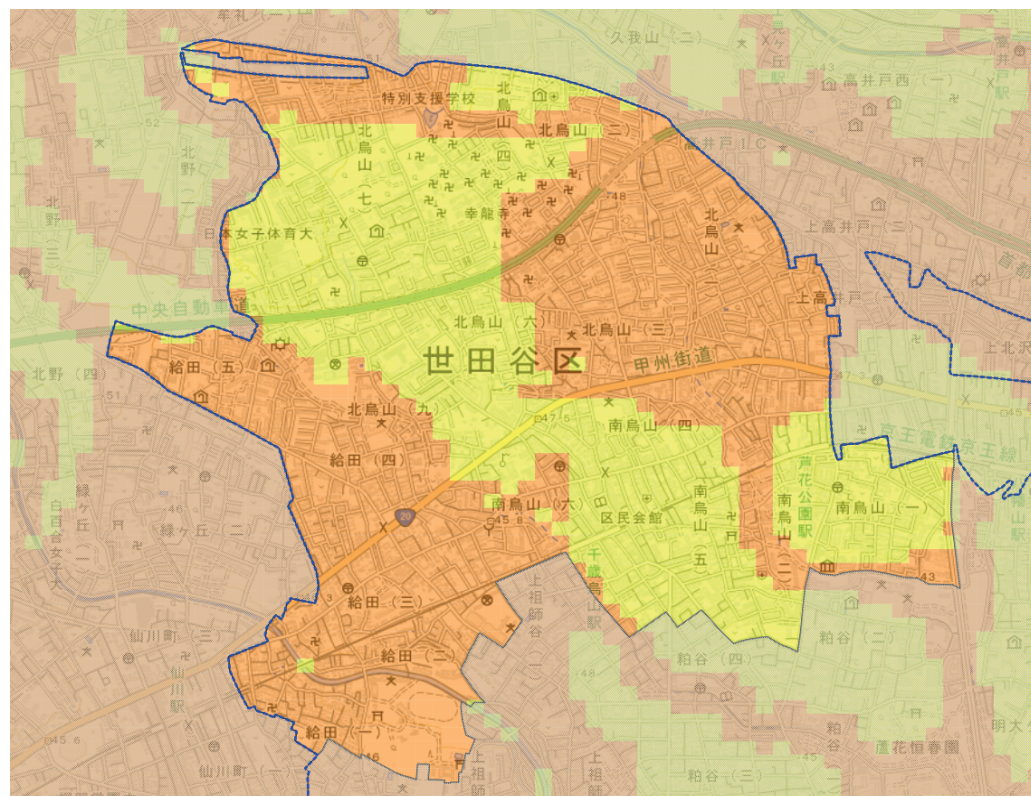
火災危険度



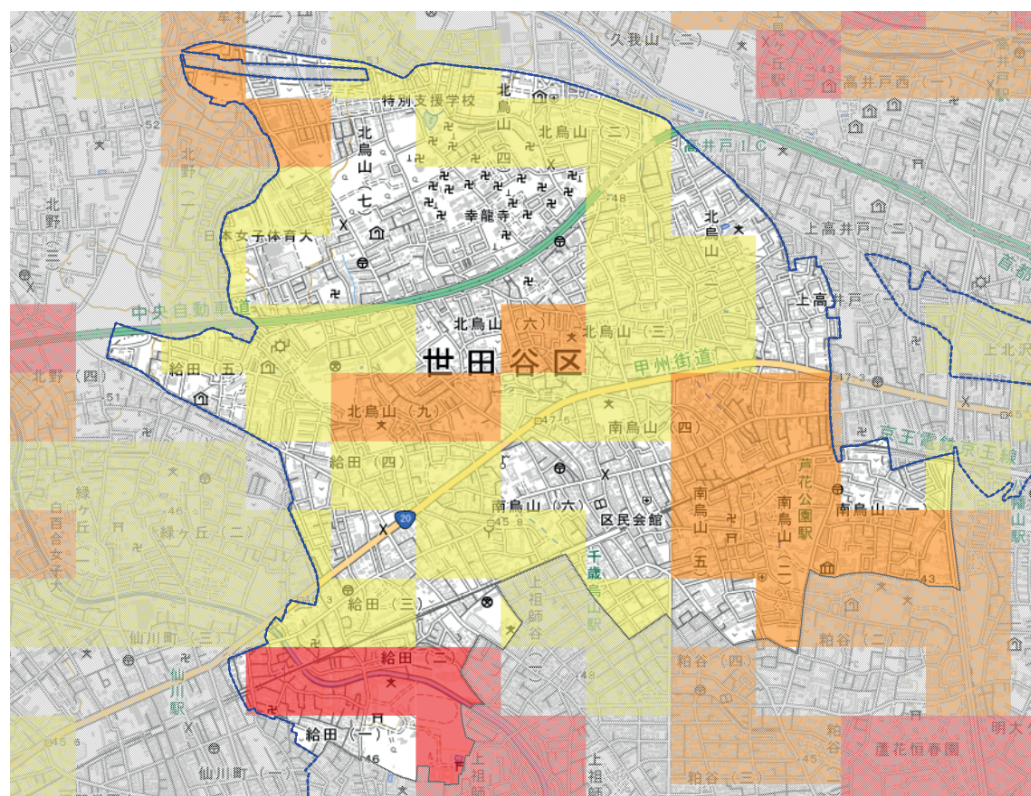
(4)被害想定

全壊棟数	352 棟	死者	34 人
半壊棟数	1,015 棟	負傷者	374 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	877 棟	うち重傷者	64 人

震度分布

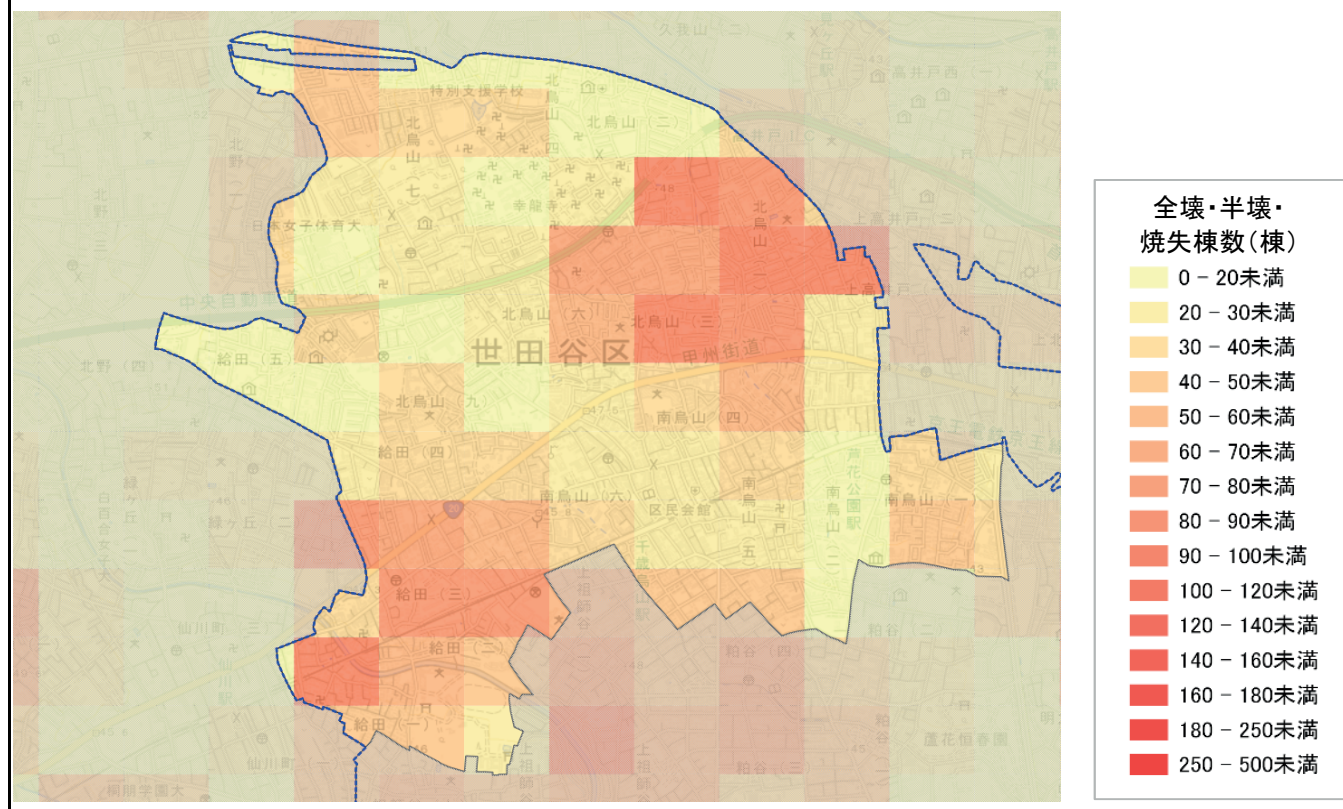


液状化分布



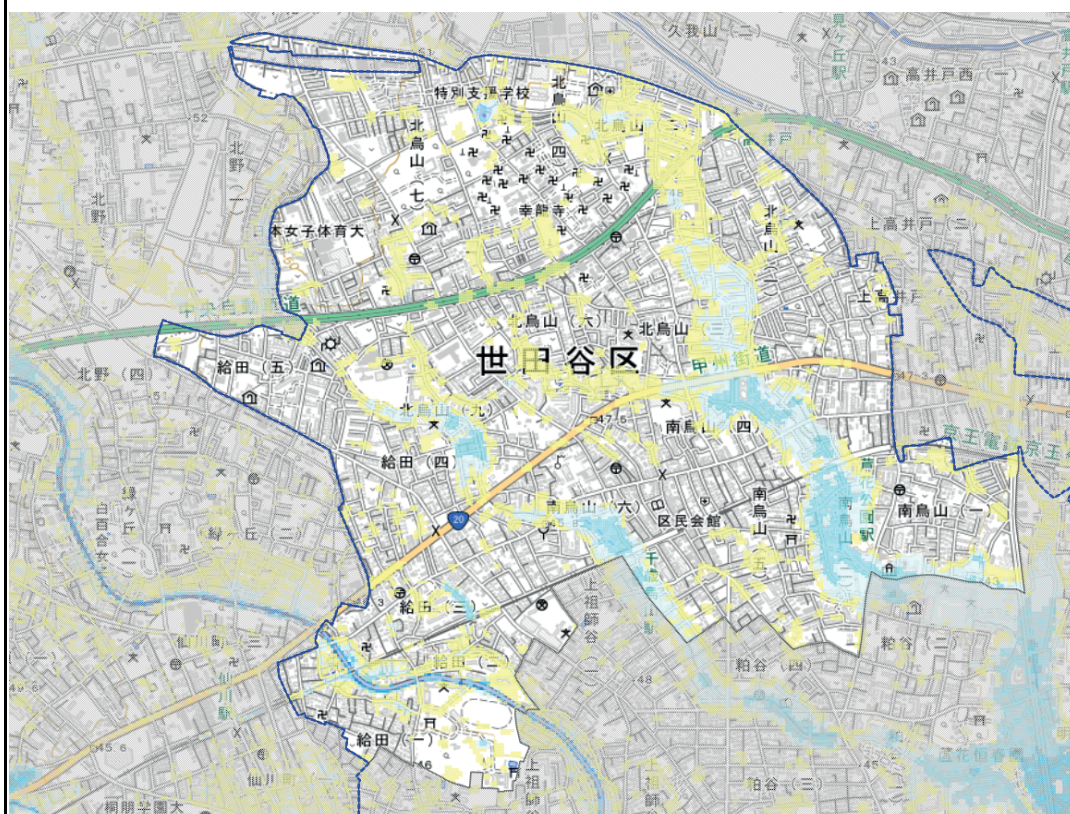
(4)被害想定

被害棟数分布



(4)被害想定

浸水想定(内水氾濫・中小河川洪水版)



浸水想定(多摩川洪水版)



(5)防災資源一覧

広域避難場所	烏山北住宅・日本女子体育大学一帯 第一生命グランド一帯				
一時集合所	グローリオ芦花公園前広場 芦花公園団地内広場 12号棟前 芦花公園団地内中央広場 芦花小学校 芦花中学校 烏山公園 烏山小学校 烏山松葉通住宅1号棟前広場 烏山中学校 烏山南住宅内広場 烏山北住宅12号棟前広場 烏山北住宅14号棟前中央公園 烏山北住宅内木の公園 烏山北小学校 給田小学校 給田西住宅内広場 給田南住宅内広場 佼成学園 第一生命グランド 北烏山2丁目アパート内広場 南烏山りんれい広場 日本女子体育大学運動場 日本女子体育大学周辺 武蔵丘小学校 北烏山9丁目公園				
指定避難所	烏山中学校 烏山北小学校 給田小学校 武蔵丘小学校				
予備避難所	日本女子体育大学 都立世田谷泉高等学校				
福祉避難所(母子)	佼成学園女子中学高等学校 日本女子体育大学				
福祉避難所(高齢者)	特別養護老人ホーム久我山園 特別養護老人ホーム千歳敬心苑 特別養護老人ホームフォーライフ桃郷 特別養護老人ホームせたがや給田乃杜 ガーデンテラス久我山				
福祉避難所(障害者)	都立久我山青光学園 給田福祉園 烏山福祉作業所				
水害時避難所(第1次)		野川・仙川洪水時避難所			
水害時避難所(第2次)	烏山区民センター				
土砂災害時避難所					
避難所救護所	烏山小学校				
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所					
一時滞在施設	久我山園 トヨタモビリティ(株) 烏山店				
一時避難施設(車中避難)		帰宅困難者支援施設		1	ヶ所
ボランティアマッチングセンター	日本女子体育大学				
マンホールトイレ	8	防災行政無線塔	12	緑地	5
輸送拠点	烏山区民会館				
給水拠点					
広域用防災倉庫	烏山広域用防災倉庫 中央自動車道高架下広域用防災倉庫				
土のうステーション	みどり橋(仙川)烏山公園(西側) 給田ぞうのはな広場東側 中央自動車道下路上 北烏山地区会館				
警察署・交番	烏山下宿地域安全センター 烏山交番 給田交番 松葉通駐在所 北烏山駐在所				
消防署・出張所	烏山出張所				

(6)防災資源マップ



- | | |
|--------------------|-------------------|
| ◎ 総合支所 | ■ 広域避難場所 |
| ● まちづくりセンター | ■ 指定避難所 |
| ⊕ セたがや災害ボランティアセンター | ■ 予備避難所 |
| Ⓔ 広域用防災倉庫 | ■ 福祉避難所(母子) |
| Ⓔ 給水拠点 | ★ 福祉避難所(高齢者) |
| Ⓔ 防災行政無線塔 | ☆ 福祉避難所(障害者) |
| Ⓔ マンホールトイレ | Ⓔ 水害時避難所(第1次) |
| ■ 土のうステーション | Ⓔ 水害時避難所(第2次) |
| Ⓔ 警察署 | ◆ 野川・仙川洪水時避難所 |
| Ⓔ 交番 | ■ 水害時避難所(狛江市) |
| Ⓔ 消防署 | ■ 水害時避難所(調布市) |
| Ⓔ 消防出張所 | ■ 土砂災害時避難所 |
| Ⓔ 身近な広場 | Ⓔ 避難所救護所 |
| Ⓔ 公園 | Ⓔ 東京都災害拠点病院 |
| Ⓔ 緑地 | Ⓔ 東京都災害拠点連携病院 |
| | Ⓔ 緊急医療救護所 |
| | Ⓔ 一時滞在施設 |
| | Ⓔ 帰宅困難者支援施設 |
| | Ⓔ ボランティアマッチングセンター |
| | Ⓔ 輸送拠点等 |
| | Ⓔ 一時避難施設(車中避難) |

出典
 世田谷区土砂災害ハザードマップ 令和6年7月発行
 世田谷区の町丁目別人口と世帯数 令和6年3月1日
 世田谷区の年齢別人口 令和6年3月1日
 世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ(多摩川洪水版、内水氾濫・中小河川洪水版)令和6年7月発行
 世田谷の土地利用2021 世田谷区土地利用現況調査
 世田谷区GISオープンデータ
 令和2年国勢調査による 東京都の昼間人口(従業地・通学地による人口)第11表
 地域危険度一覧表(地震に関する地域危険度測定調査[第9回]) 令和4年9月
 首都直下地震等による東京の被害想定 報告書 令和4年5月25日
 世田谷区防災マップデータ 令和6年3月

(7)区民アンケート(烏山地区)

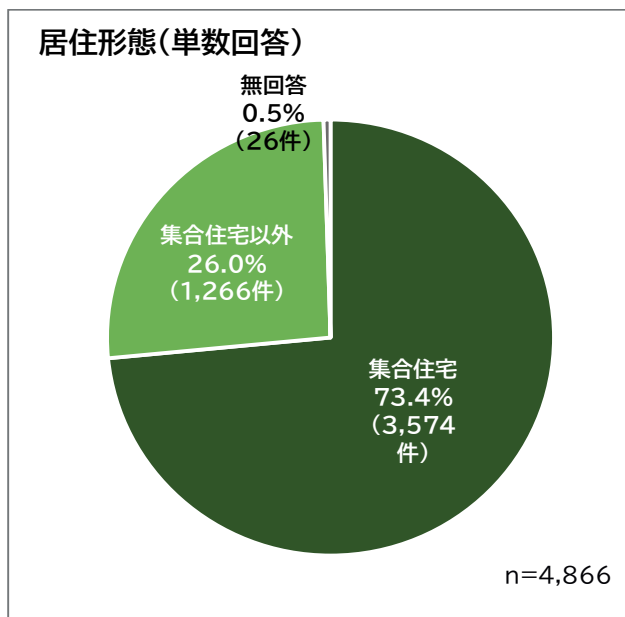
このアンケートは、今後の区内各地域及び地区における災害関連施策の検討や取組みに活用することを目的として、令和6年度に災害対策課が実施した「在宅避難支援事業(防災カタログギフト)」に合わせて行ったものである。

なお、以下に記載している回答集計結果は、カタログギフト申込者のうち、WEBで申し込みをした区民へ任意での回答を依頼し、令和6年8月9日から9月8日までに回収できた分である。

単純集計(1/5)

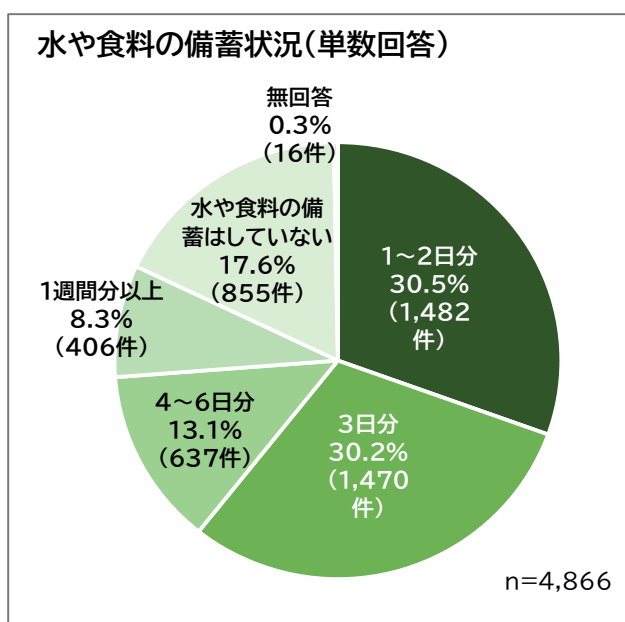
居住形態

【1】あなたはマンションなどの集合住宅にお住まいですか。



水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。



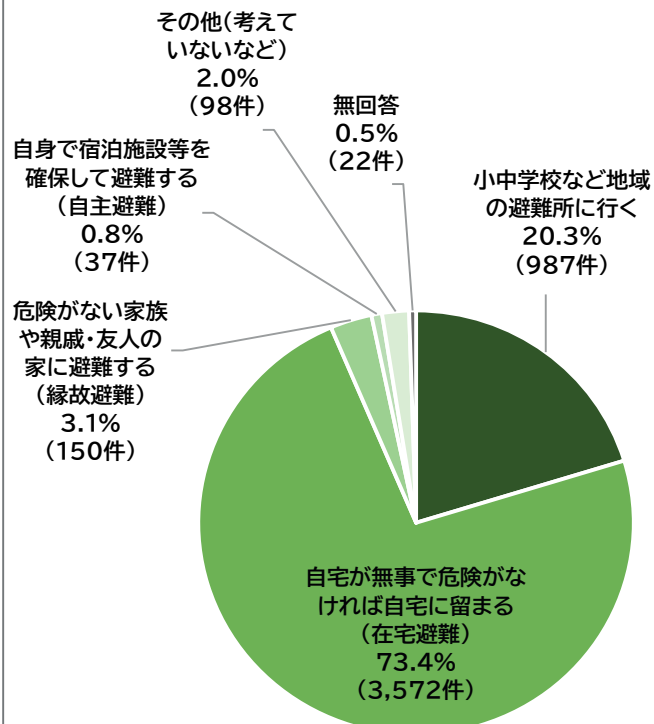
(7)区民アンケート(烏山地区)

単純集計(2/5)

震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



n=4,866

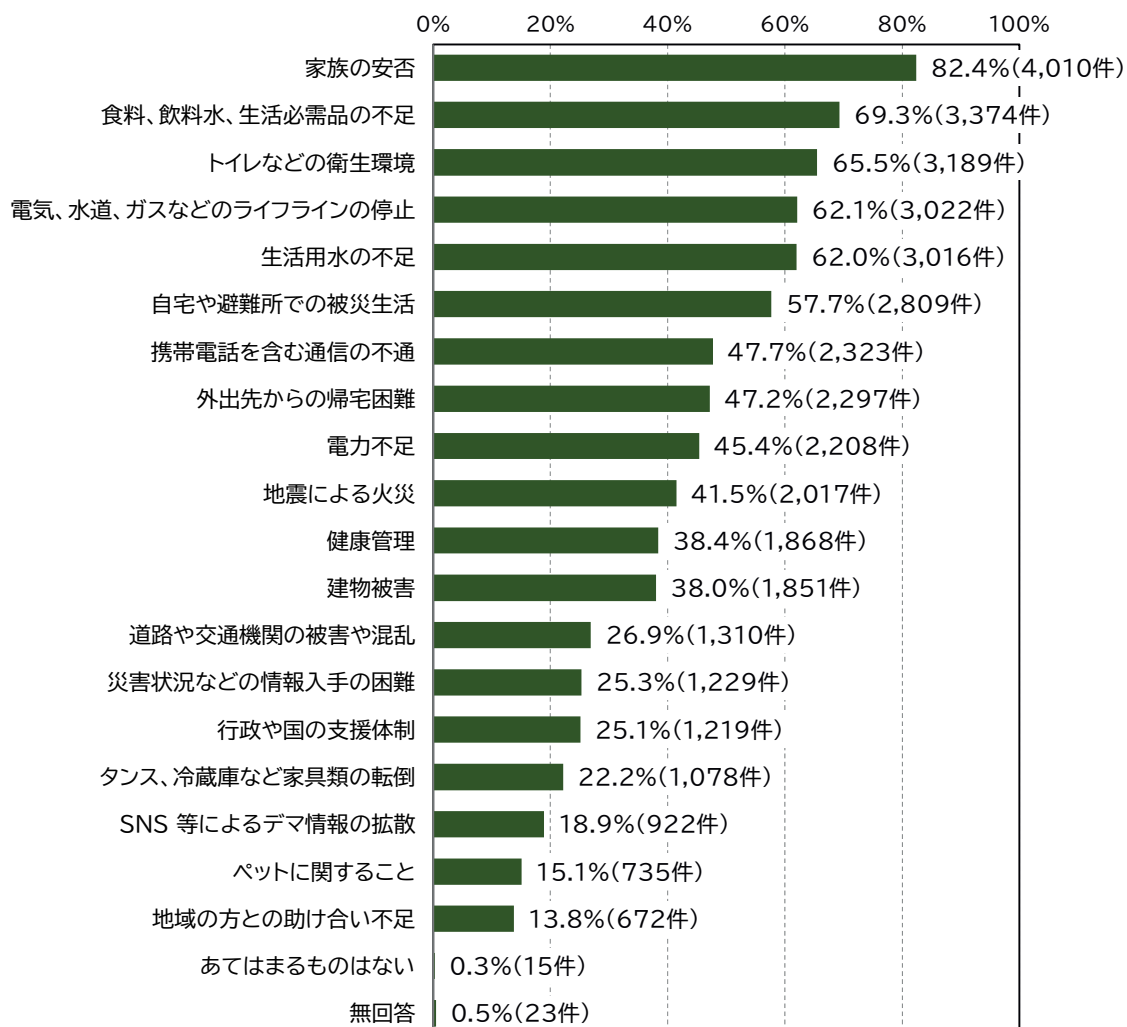
(7)区民アンケート(烏山地区)

単純集計(3/5)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

災害時の心配ごと(複数回答)



n=4,866

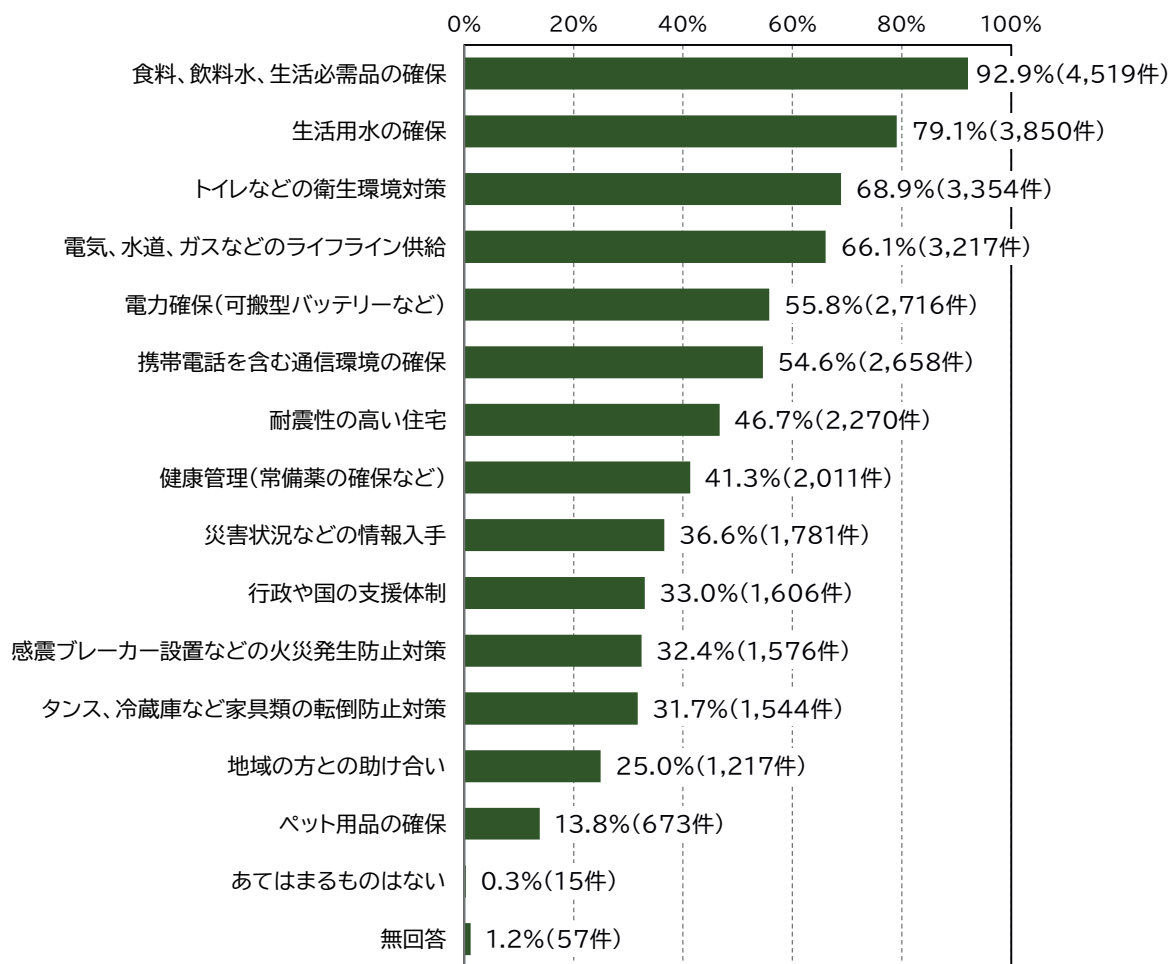
(7)区民アンケート(烏山地区)

単純集計(4/5)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



n=4,866

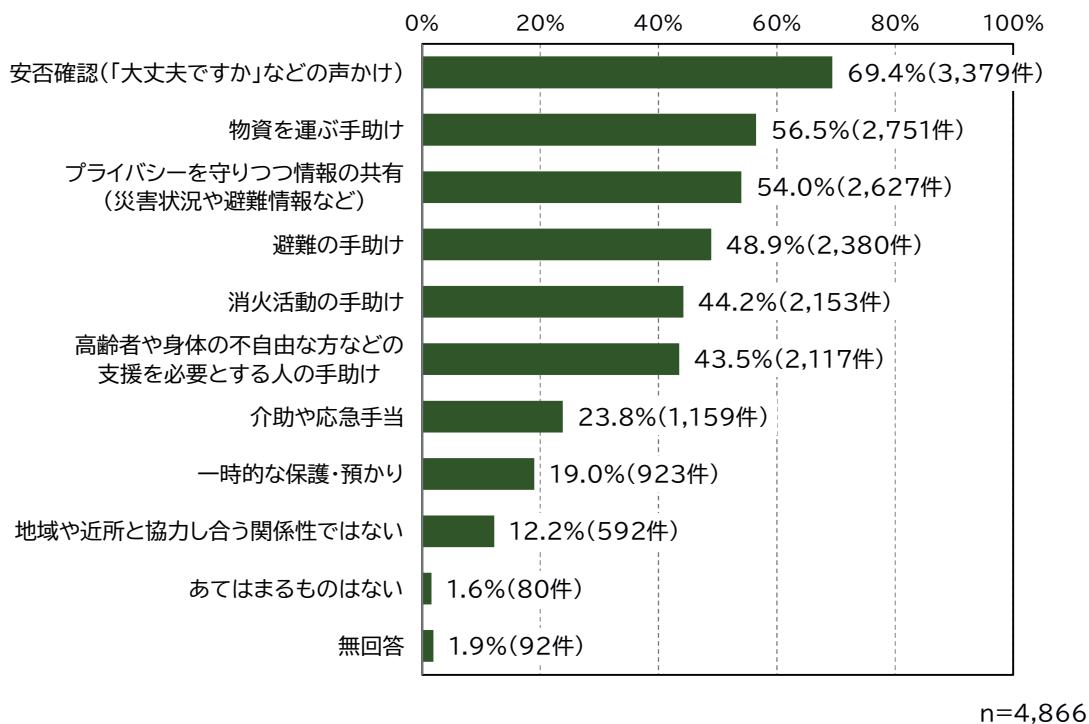
(7)区民アンケート(烏山地区)

単純集計(5/5)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

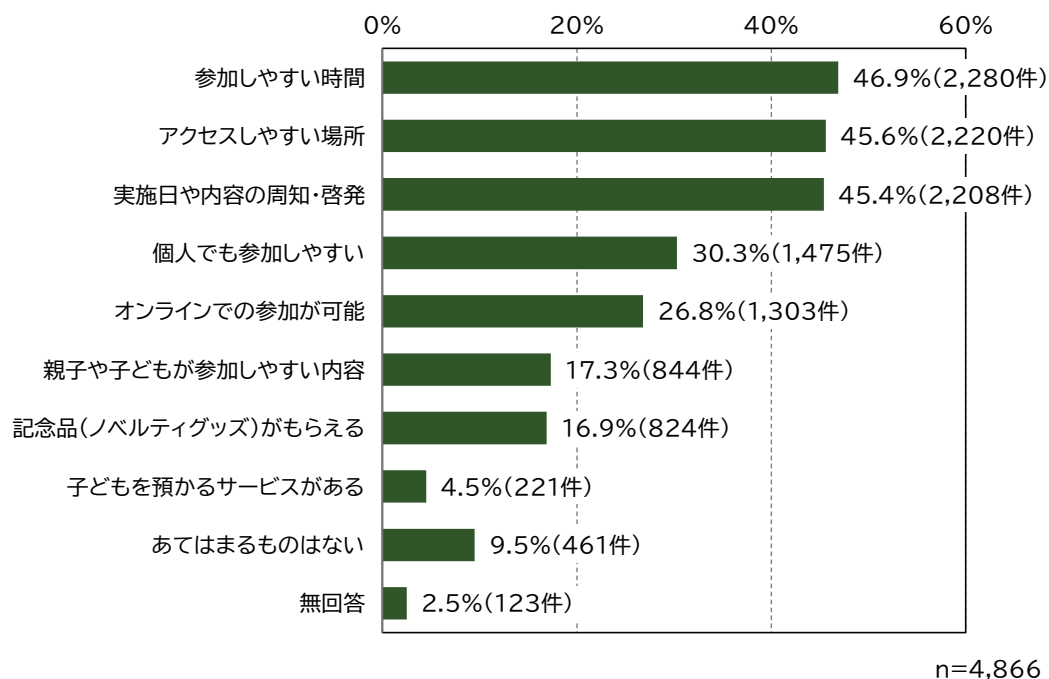
災害時にできる住民同士の支援(複数回答)



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



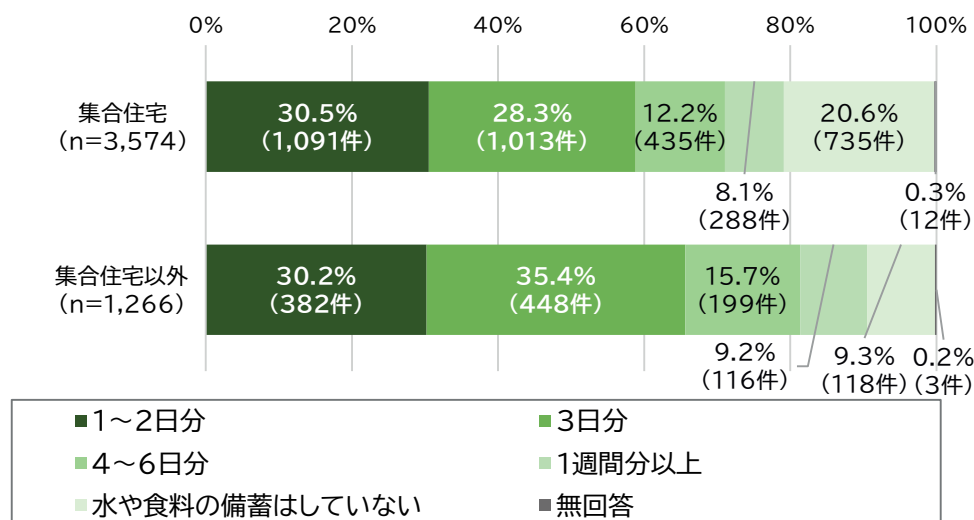
(7)区民アンケート(烏山地区)

クロス集計(1/4)

水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。

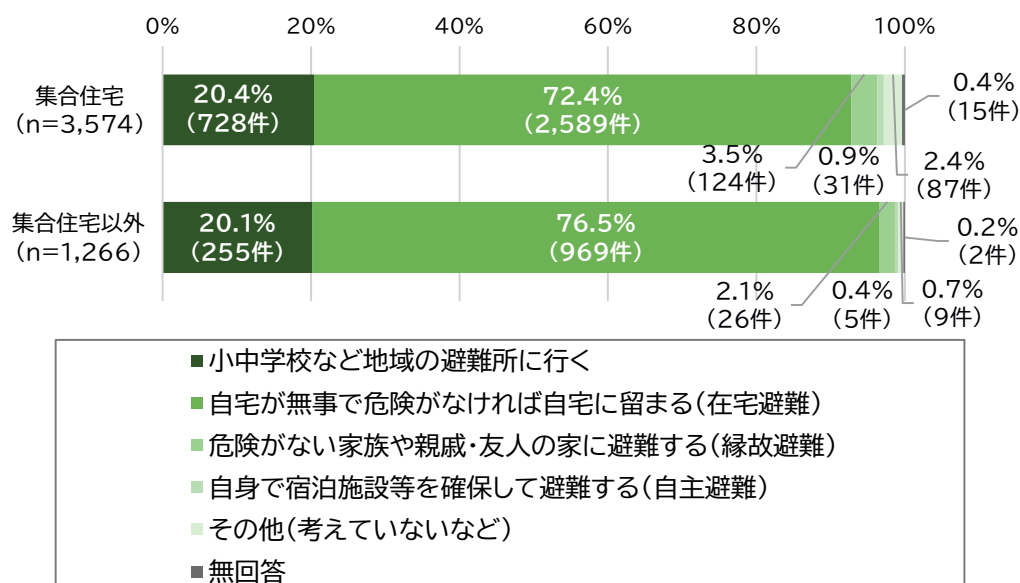
【居住形態別】水や食料の備蓄状況(単数回答)



震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

【居住形態別】震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



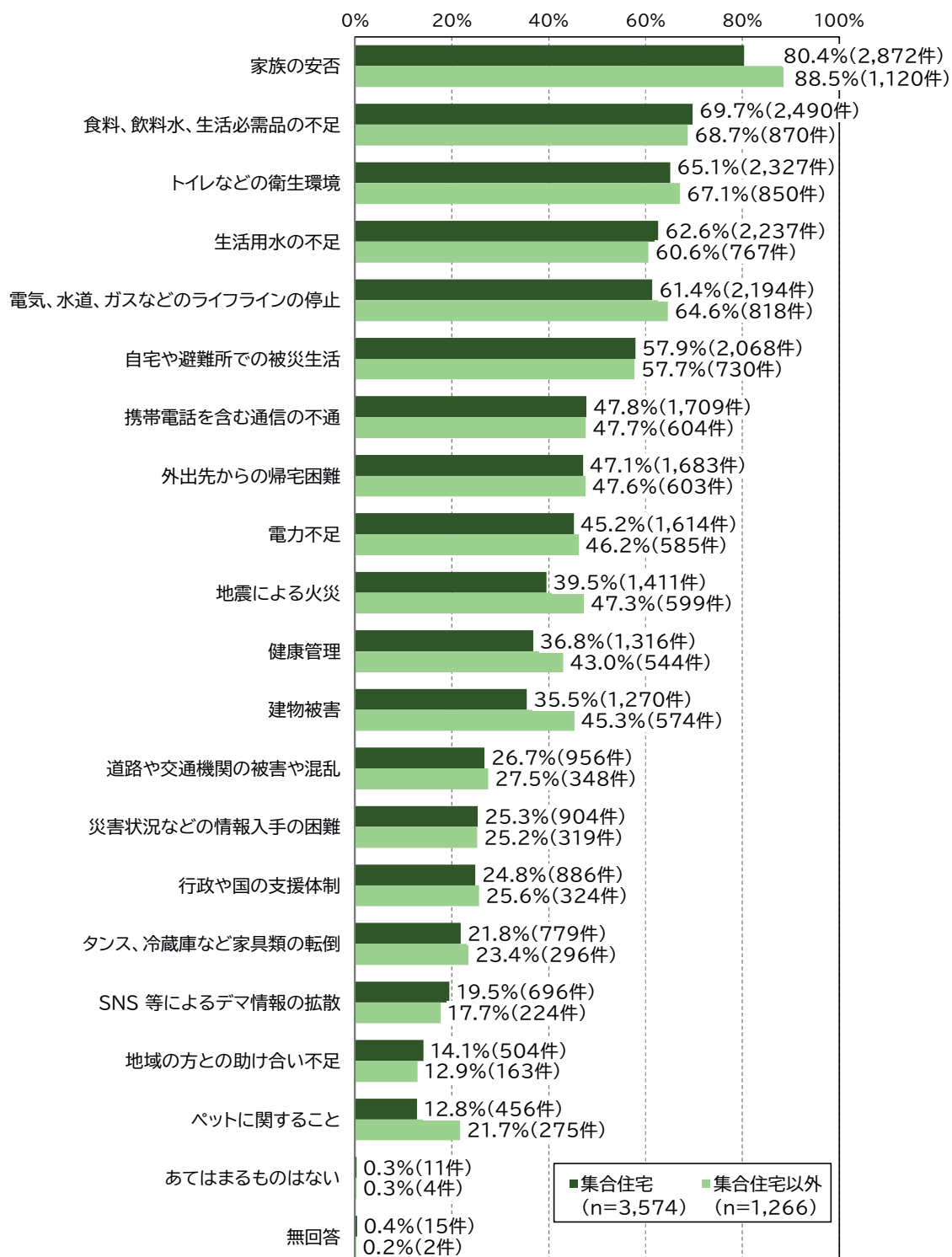
(7)区民アンケート(烏山地区)

クロス集計(2/4)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

【居住形態別】災害時の心配ごと(複数回答)



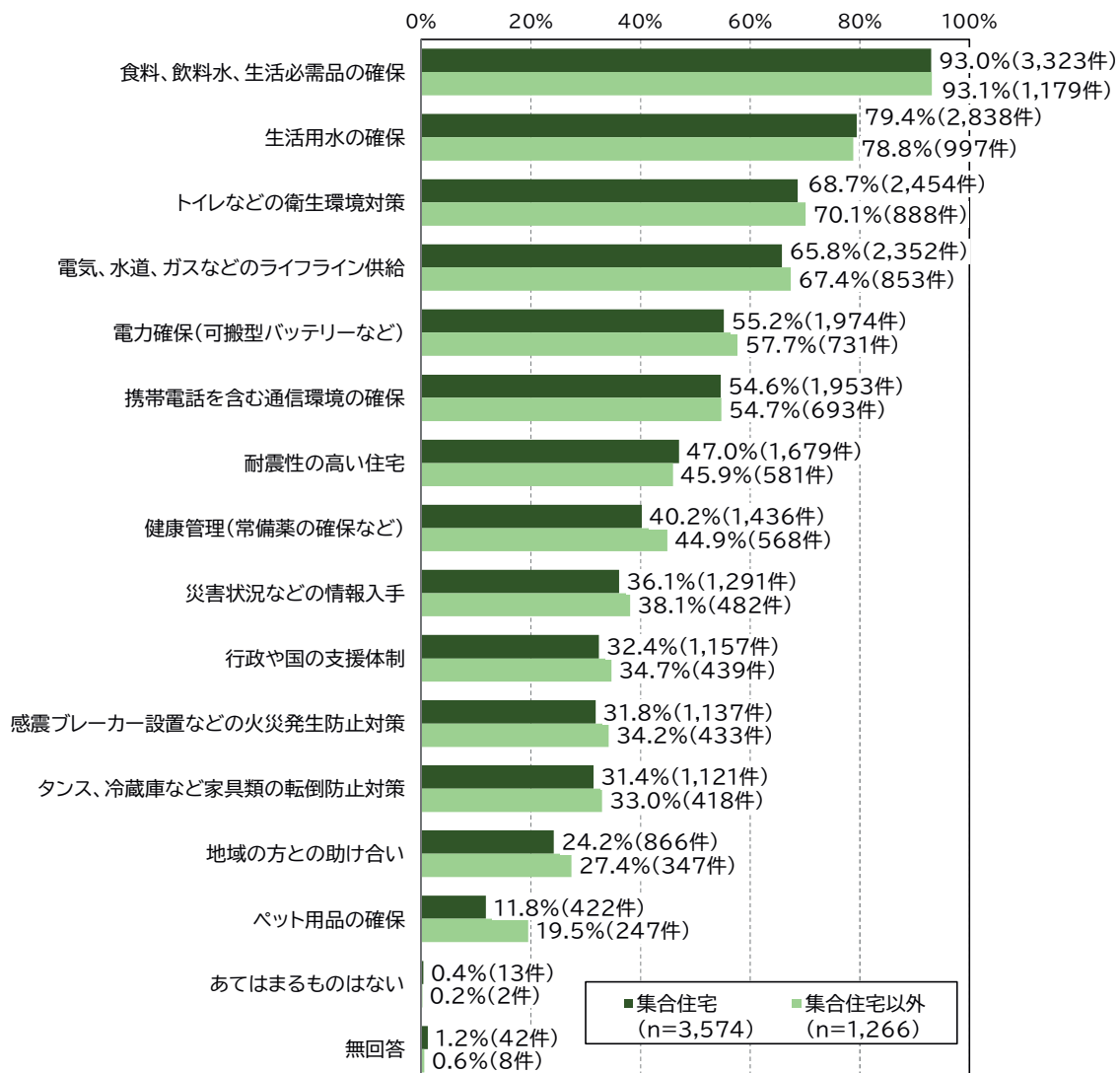
(7)区民アンケート(烏山地区)

クロス集計(3/4)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【居住形態別】在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



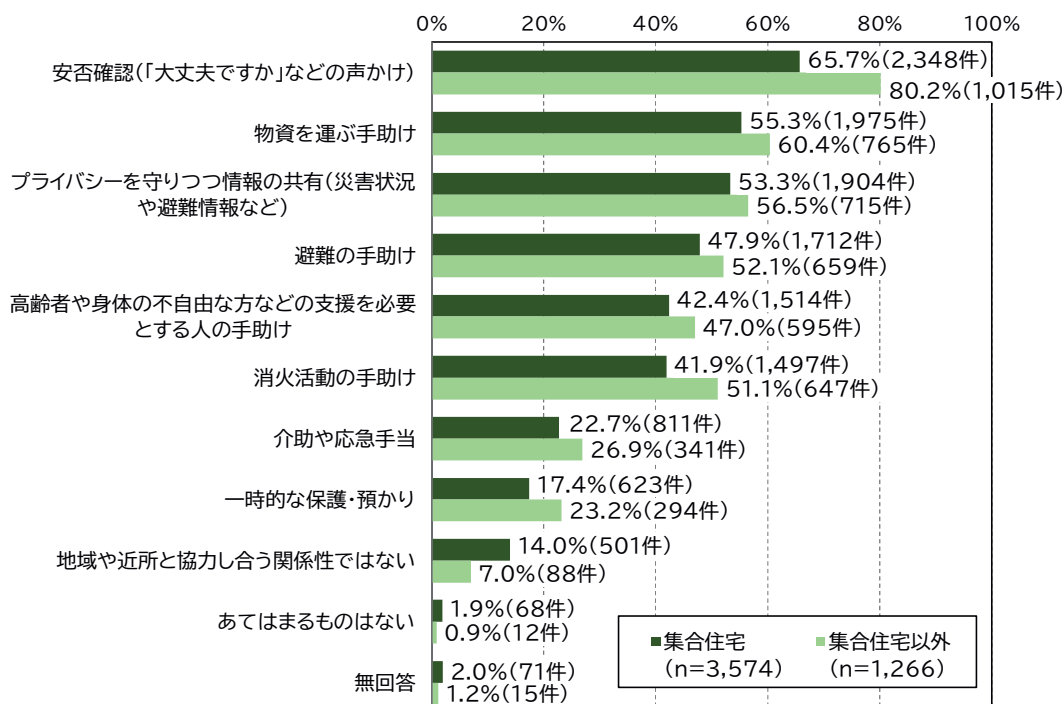
(7)区民アンケート(烏山地区)

クロス集計(4/4)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

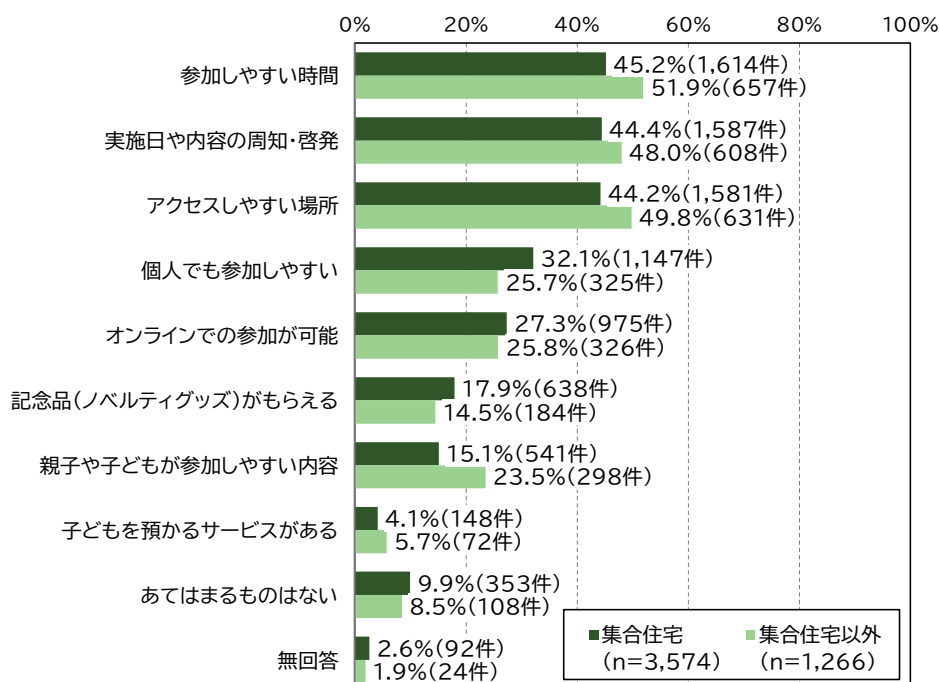
【居住形態別】災害時にできる住民同士の支援(複数回答)



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

【居住形態別】防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



2ー(1)各団体の防災活動～現在の取組状況

団体名	防災担当者数	防災に関する会議				防災活動、資機材配備等の実施				消火資機材の配備								防災訓練等の実施			
		実施している	実施していない	会議名	(実施回数)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器		その他		実施している	実施していない	回数	実施場所
										数量	場所	数量	場所	数量	場所	名称	場所				
給田町会	4	○		防災会議		○		○				1	六所神社					○		2	烏山中学校・給田小学校
給田西住宅管理組合	8	○		給田西住宅防災担当会議	1	○		○		1	給田西住宅倉庫	1	給田西住宅倉庫	28	給田西住宅各階段			○		1	給田西住宅管理事務所前
給田南住宅自治会	3	○		防災勉強会	1	○		○						38	各中央階段踊り場他			○		1	集会室
烏山上町会	4							○				1	北地区会館					○		1	烏山中学校
コーシャハイム千歳烏山住宅自治会	0	○					○	○						約500本	世帯毎(約500本)				○		
烏山中町会	12	○		防災会議	2	○		○				2	りんれい公園他	8	南烏山4丁目7～11番			○		1	烏山神社
北烏山2丁目アパート自治会	0	○						○				2	団地公園内						○		
烏山寺院連合会		○			1			○						6	各家庭			○		1	寺院
あやめ会	3	○		あやめ会防災部	3	○		○										○		2	4丁目駐車場
親和会	10	○		役員会、防災会議	2	○		○				1	防災倉庫(町会)	1				○		2	指定場所 烏山北小学校 烏山中学校
コートヒルズ久我山自治会	2	○					○	○											○		
北烏山青葉団地管理組合	6	○				○		○				1	東京都住宅供給公社烏山北住宅内倉庫	15	各階段1F入口			○		1	武蔵丘小学校
烏山北住宅自治会	10	○				○		○						30	各階段に1本人の集まる会議室等			○		3	烏山中学校、北小学校での参加、木の公園
烏山北住宅賃貸自治会		○		防災教室	2	○		○						○	各家庭			○		2	集合室
北烏山みむね管理組合	7	○				○		○						14	各階段2本				○		
烏山下町会	10	○		町会定例会にて防災講習会	1	○		○		3	南・中・北地区倉庫	1	下宿広場防災倉庫					○		3	芦花小学校 武蔵丘小学校
千駄山町会	14	○				○		○				1	烏山公園	1	烏山公園				○		
児ヶ谷会	10	○		防災担当者会議、防災セミナー	2	○		○		1	防災倉庫							○		2	芦花小中学校
コーシャハイム芦花公園自治会		○					○											○		1	団地中央広場・集会室 芦花小学校
芦花公園団地自治会	6	○		防災本部会議		○		○						500	居住世帯すべて			○		4	団地中央広場・集会室
パークアベニュー芦花公園自治会	5	○		総会、防災部会	1	○		○						40	マンション内各階段等、各住戸内			○		2	集会室他

2ー(1)各団体の防災活動～現在の取組状況

団体名	防災訓練等の実施				防災マップ										防災士等の数		災害時連携・協定 (区を除く)					避難行動要 支援者協定		
	救命救急 講習会		その他		作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報						防災士 把握していない	地域防災リーダー 把握していない	他団体との連携 把握していない	協定締結	特になし	連携先 ・内容	協定先 ・内容	締結している	検討中である	予定はない
	回数	実施場所	訓練名称	実施場所					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸										
給田町会	1	穴戸コンクリート						○							○	○		○						○
給田西住宅管理組合								○							○	○		○					○	
給田南住宅自治会								○							3			○						○
烏山上町会															0	3		○						○
コーシャハイム千歳烏山住宅自治会								○							○	○		○						○
烏山中町会	1	烏山神社					○						地域・地区のマップあり利用している。	3	3		○	協和会、烏山グループホーム「くつろぎ」					○	
北烏山2丁目アパート自治会								○							○	○		○						○
烏山寺院連合会								○							0	0		○						○
あやめ会							○			○					○	○		○					○	
親和会							○								○	○		○					○	
コートヒルズ久我山自治会								○							○	○		○						○
北烏山青葉団地管理組合								○							○	○		○						○
烏山北住宅自治会							○								○	○		○						○
烏山北住宅賃貸自治会	2	集合室						○							○	○		○						○
北烏山みむね管理組合								○							1	○	○		○					○
烏山下町会	1	下宿広場防災訓練			○				○	○	○		○		6	6		○			烏山福祉作業所			○
千駄山町会								○							1	1		○				○		
児ヶ谷会						○									○	○		○				○		
コーシャハイム芦花公園自治会	1	成城消防署烏山出張所																						
芦花公園団地自治会	1	成城消防署烏山出張所					○								○	○		○						○
パークアベニュー芦花公園自治会		集会室	初期消火訓練	駐車場他	○			○	○			○		○	2	○		○				○		

2ー(1)各団体の防災活動～現在の取組状況

団体名	避難行動要支援者対策				連絡手段の確保			防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)				救出救助に係る資機材の配備																	
	見 日 守 り 活 動	要 支 援 者 体 験	その他	特 に 実 施 し て い な い	簡 易 無 線	通 信 網 の 整 備	その他	策 定 済 み	策 定 中	検 討 中	予 定 な し	名称	配 備 し て い な い	配 備 し て い る	リ ア カ ー	は し こ	脚 立	担 架	救 急 セ ット	ヘル メ ット	救 助 工 具 セ ット	バ ル ン	ス コ ッ プ	手 お の	の こ ぎ り	ジャ ッ キ	両 口 ハ ン マ ー	ツ ル ハ シ	
給田町会				○		○					○			○	1			1	2	5		1	2	1	1	1	1		
給田西住宅管理組合	○						してい ない			○				○	2	3	1		2	3	1								
給田南住宅自治会				○			拡声器				○			○			1		2	10	2	2	2	2	2	2	2	2	
鳥山上町会				○		○				○				○	1							2	1	3	10				
コーシャハイム千歳鳥 山住宅自治会				○							○		○																
鳥山中町会				○						○			○							30									
北鳥山2丁目アパート 自治会				○							○		○																
鳥山寺院連合会				○			なし				○		○																
あやめ会	○					○				○			○						○	○									
親和会	○		訪問と町会イベントの誘い			○	町会名簿 作成			○			○				1	1	○	○	1		1				1		
コートヒルズ久我山 自治会	○			○		○	自治会加 入届				○		○																
北鳥山青葉団地管理 組合				○			住民名簿				○		○				3		2	6	1								
鳥山北住宅自治会				○		○				○			○		1	1	1	1	1	10		1	4			1		1	1
鳥山北住宅賃貸自治 会				○		○					○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北鳥山みむね管理組 合				○			なし				○		○						1	8		1	1				2	2	1
鳥山下町会				○		○					○		○	1			1	1	20	1									
千駄山町会	○						メールアド レスの配 布				○		○																
児ヶ谷会	○					○	災害時用 会員名簿				○		○	1		1			2	8		1	1	1	1	1	1	1	
コーシャハイム芦花公 園自治会																													
芦花公園団地自治会			同階段の知り合い、古い 友人同士で部屋の鍵を預 かることや、自治会の車椅 子を使ったりして助け 合っている。 ソフト担架で階段を下りる 訓練、マンホールトイレ設 置、汚物を流す訓練を実 施		○			○				共助活動行動 指針	○	1	2	2	2		1	8	1	1	8	1	2	1	1		
パークアベニュー芦 花公園自治会			名簿更新時に面談、把握	○		○				○			○		5	6	2	20	20	1	2	10	2	5	5				

2-(1)各団体の防災活動～現在の取組状況

団体名	救出救助に係る 資機材の配備		食糧等の備蓄														
	その他	保管場所	備 蓄 して いな い	備 蓄 して い る	ア ル フ ァ 米	ビ ス ケ ッ ト ・ 乾 パ ン	お か ゆ	飲 料 水	缶 詰 類	レ トル ト 食 品 類	カ セ ッ ト コ ン ロ	災 害 そ の 他 食 料	非 常 用 ト イ レ	照 明	発 電 機	蓄 電 池 セ ッ ト	給 水 タン ク
給田町会	チェーンソーx1 ポルトクリッパー	六所神社防災倉庫		○				444			5	20					
給田西住宅管理組合			○														
給田南住宅自治会		給田南住宅集会室	○		200	60		2L50本 程度			1					2	
鳥山上町会				○										6	2		
コーシャハイム千歳鳥 山住宅自治会													公社と して12 備蓄				
鳥山中町会		北鳥山3丁目倉庫、 さくら公園防災倉 庫、鳥山中裏協和 会防災倉庫		○				500					100				
北鳥山2丁目アパート 自治会			○														
鳥山寺院連合会				○													
あやめ会				○		30			30	20			1				
親和会	ブルーシート	町会防災倉庫		○				50					3	2	1		○
コートヒルズ久我山 自治会				○													
北鳥山青葉団地管理 組合	ブルーシート ロープ ハロゲンライト ブランケット	団地内倉庫		○									150				
鳥山北住宅自治会	ブルーシート	北住宅内倉庫に保 管		○	300								○	○	○		
鳥山北住宅賃貸自治 会				○				○			○		○	○	○		
北鳥山みむね管理組 合	スタンド1、ブルーシート12、メ ガフォン4、プライベートテ ント1、充電ラジオ1ポータブルテ ント1、タービーシート3.6× 5.4m1、ロープ100m1、ブラ ンケット5、三角巾多数	事務室		○		96		90					115	3			
鳥山下町会	ブルーシート×20、石油ストー プ×1、ハンドマイク×3、石油コ ンロ×3、チェーンソー×1、災害 救助用毛布×10	下宿広場 下町会防災倉庫 北地区防災倉庫		○		576		456			1	320		3			
千駄山町会				○			100	60	200	100				4		2	
児ヶ谷会	ロープ(30m) ブルーシートx27枚 照明x2 テーブルx2、毛布×6枚	防災倉庫									3		200	2			
コーシャハイム芦花公 園自治会																	
芦花公園団地自治会	大型テントx2 車椅子x2 炊事用具各種 防災トイレx8	自治会防災倉庫		○				10					10	1	5	2	地下 タンク 5t
パークアベニュー芦 花公園自治会				○	1000	1000	300	2500	2000	2000	52	2500	4800	6	1	2	

2ー(1)各団体の防災活動～現在の取組状況

団体名	食糧等の備蓄			その他の 防災活動
	その他	保管場所	備蓄品 配布先	
給田町会	ハロゲン投光機x1 バック毛布x5枚	六所神社防災倉庫		
給田西住宅管理組合				
給田南住宅自治会		給田南住宅集会所		
烏山上町会		北地区会館		
コーシャハイム千歳烏山住宅自治会				
烏山中町会		北烏山3丁目倉庫、さくら公園防災倉庫、烏山中裏協和会防災倉庫	町会会員全世帯(非常用トイレ)	
北烏山2丁目アパート自治会				
烏山寺院連合会				
あやめ会		区道(許可済)		
親和会		町会防災倉庫		
コートヒルズ久我山自治会				
北烏山青葉団地管理組合				
烏山北住宅自治会				
烏山北住宅賃貸自治会				
北烏山みむね管理組合	強力ライトx2 安全キャンドルx1 スケットイレx3	事務室		地震時、安否確認のシール
烏山下町会		北地区(千駄山広場内)防災倉庫		
千駄山町会		防災倉庫	町会加入者	12月3回日夜回り(火の用心、パトロール)
児ヶ谷会		防災倉庫		
コーシャハイム芦花公園自治会				防災訓練年1回を目標に企画しているが実施出来ていない。
芦花公園団地自治会	防災トイレx8 災害用マットx2 缶 ガソリンポンプ(マンホールトイレ給水用)	自治会防災倉庫		防災本部規約改訂、家具転倒防止の啓発、「近助意識」の醸成。
パークアベニュー芦花公園自治会	飲料水作業機	防災庫		居住者の高齢化に伴い、消火、避難などの方法を見直す必要を感じている。

2-(2)各団体の防災活動～現在の取組状況

団体名	防災担当者数	防災に関する会議				防災活動、資機材配備等の実施			消火資機材の配備			消火資機材の配備						防災訓練等の実施			
		実施している	実施していない	会議名	(実施回数)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器		その他		実施している	実施していない	回数	実施場所
										数量	場所	数量	場所	数量	場所	名称	場所				
日商岩井北烏山マンション管理組合	6		○			○		○						2	4階エレベーターホール電気室				○		
烏山南住宅団地管理組合 組合法人防災会	13	○		管理組合防災会会議、自治会防災会会議・検討会	10	○		○						98	住宅内廊下等				○	1	烏山南住宅団地
久我山ガーデンヒルズ管理組合	3	○			1	○		○											○	1	敷地内
烏山駅前通り商店街振興組合 地域防災部	13			担当役員防災会議		○						○	防災倉庫(会)	4	各階				○	1	事務局内
区営北烏山8丁目アパート 自治会地域防災部	8	○		自治会防災部会議	3	○			○					12	3階まで各階段					○	
芦花公園パーク・ホームズ 管理組合防災本部	2		○			○								69	13階まで各階				○	1	敷地内
ネオコーポ芦花公園防災委員会	5		○		6	○		○						45	9階各階5台				○	1	敷地内
ザ・パークハウス千歳烏山 グロリーオ管理組合	2		○			○								188	住宅内廊下等				○		
コーシャハイム久我山防災会	6	○		コーシャハイム久我山防災会役員会	10	○		○				1	団地内防災倉庫	351	各住戸内				○	1	敷地内

団体名	防災訓練等の実施				防災マップ											防災士等の数				災害時連携・協定 (区を除く)					避難行動要 支援者協定		
	救命救急講習会		その他		作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない
	回数	実施場所	訓練名称	実施場所					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	その他											
日商岩井北烏山マンション管理組合								○														○					○
烏山南住宅団地管理組合 組合法人防災会	1	芦花小中学校 烏山小学校						○										○		○		○					○
久我山ガーデンヒルズ管理組合					○					○	○											○					○
烏山駅前通り商店街 振興組合地域防災部							○										2			○			防災士会 世田谷支部	セミナー 開催等		○	
区営北烏山8丁目アパート自治会地域 防災部									○	○						防災士の資格者はいるが、 高齢で活動できない		○				○					○
芦花公園パーク・ホームズ 管理組合防災本部							○										○				○						○
ネオコーポ芦花公園 防災委員会																	1					○				○	
ザ・パークハウス千歳 烏山グローリオ管理組合					○					○	○								○		○						○
コーシャハイム久我山 防災会	1	敷地内						○									○		○		○						○

団体名	避難行動要支援者対策			連絡手段の確保			防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)					救出救助に係る資機材の配備																
	日頃からの見守り活動	要支援者体験	その他	特に実施していない	簡易無線	連絡網の作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー	ツルハン
日商岩井北烏山マンション管理組合				○						○			○				2	1	0			1	4		1	1	1	
烏山南住宅団地管理組合 組合法人防災会				○		○					○		○	1		2	3		13	1	3							1
久我山ガーデンヒルズ管理組合				○				○				防災ハンドブック	○		1	3			6	1		15						
烏山駅前通り商店街 振興組合地域防災部				○		○				○			○			1		1		1	1	1				1		
区営北烏山8丁目アパート 自治会地域防災部						○	入居者名簿による連絡			○			○			○		○			○	○			○	○		
芦花公園パーク・ホームズ 管理組合防災本部				○									○			1			2	1	1	1		1	1	1		
ネオコーポ芦花公園 防災委員会				○						○			○						3	1	6	2	1	1	3	5		
ザ・パークハウス千歳 烏山グローリオ管理組合				○				○				防災計画書	○				4	6	30	4								
コーシャハイム久我山 防災会				○						○		未定	○	1			1		6	1				1				

団体名	救出救助に係る資機材の配備		食糧等の備蓄														
	その他	保管場所	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	その他災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機	蓄電池セット	給水タンク
日商岩井北烏山マンション管理組合	ボルトクリッパー1個、なた1個、ロープ1本、ハンドマイク1個、油圧ジャッキ(4t)	1階倉庫		○									9			2	4
烏山南住宅団地管理組合法人防災会	トビグチx3、大木づちx1、ロープx2、ハンドマイクx3	烏山南住宅内防災倉庫及び集会室		○				330				354	650	15		2	34
久我山ガーデンヒルズ管理組合													21		3		
烏山駅前通り商店街振興組合地域防災部		防災倉庫(会)		○				100						4		1	
区営北烏山8丁目アパート自治会地域防災部	組立トイレ、車いす	自治会倉庫		○	○	○	○	○	○		○		○	○			
芦花公園パーク・ホームズ管理組合防災本部													960				
ネオコーポ芦花公園防災委員会	ブルーシートx3、ラジオx3、ロープ他	1階防災倉庫	○														
ザ・パークハウス千歳烏山グローリオ管理組合				○				408					1		3		
コーシャハイム久我山防災会		団地内防災倉庫(C号棟1階コミュニティサロン隣接)		○							2		200	16	2	2	4

団体名	食糧等の備蓄			その他の防災活動
	その他	保管場所	備蓄品配布先	
日商岩井北烏山マンション管理組合	充電ラジオ×4、ブルーシート×1 サバイバルブランケット×66	1階倉庫		
烏山南住宅団地管理組合 法人防災会	バック毛布20枚、防水エコシート6枚、エマージェンシーブランケット14、薪(カラマツくん)2箱	烏山南住宅内 防災倉庫	烏山南住宅居住者	各家庭で防災力を高めるために、飲料水、食糧の備蓄に努めるよう、啓蒙活動を行っている。(自治会活動として)
久我山ガーデンヒルズ管理組合	ウエスタオル×50、吸水バッグ×50、厚布×5、懐中電灯×1、竹ぼうき×12、ブルーシート×5、まかないくん×1、延長コード×1、防災用テント×2、備品整理ラック×1、運搬用台車×2、スライド式梯子×1			
烏山駅前通り商店街 振興組合地域防災部				地域と連携した防災訓練の実施
区営北烏山8丁目アパート自治会地域防災部	ラジオ、ライト、懐中電灯3、非常食セット、ローソク10	自治会専用防災倉庫		各家庭に消火器設置をお願いしている。防災訓練を実施していないので、消防署からのチラシを各家庭に配布している。
芦花公園パーク・ホームズ管理組合 防災本部				
ネオコーポ芦花公園 防災委員会				
ザ・パークハウス千歳 烏山グローリオ管理組合				
コーシャハイム久我山 防災会	太陽光パネル1、コードリール5、車いす1、キャリアカート(階段)6、拡声器2、トランシーバー1、ラジオ1、テント1、耐水シート10	団地内防災倉庫		在宅避難を想定して、今後各住戸内で宅内備蓄をするように推奨していく。

3. 烏山地区の課題と取り組み

課題1 日頃からの備え～けが防止・備蓄・家族のルール/安否確認～

■意見

- ・過去の防災の基本は火を消せたが、今は逃げることが重要である。
- ・危険箇所(家(倒壊)、台所(飛んでくるものが多い)、ブレーカー(自動では切れない))を把握することが重要である。
- ・建物の耐震化、不燃化が遅れている。
- ・怪我の防止策例…家具(特に食器棚)の転倒防止(新しい家具は優れもの)、ガラス飛散防止フィルム、スリッパ上履き、革手袋、ヘルメットの準備、普段から何も無いところで寝る、できるだけ物を置かない、建物は建設された年を確認する、耐震化、不燃化を進める、東京防災を読む等。
- ・町会、自治会では備蓄が難しいため、個人で1週間生活できる程度の備蓄が必要である。
- ・備蓄に適切な物、量が不明である。また、高層階の人は備蓄する為の買出しも困難である。
- ・備蓄例…水2ℓ・12本、米(アルファ米)5kg、缶詰、カップラーメン、常備薬、応急箱、現金、保険証等、SOS用の笛、懐中電灯付ヘルメット、携帯ラジオ、ごみで出せるグッズ(ラップ、紙皿、割り箸)、室内履き、底が厚い靴、簡易トイレ、ビニール等)
- ・持ち出し袋の例…常備薬、連絡先、ラジオ、アルミブランケット、水2ℓ、チョコレート、乾パン、革手袋、ヘッドランプ、新聞紙、嗜好品等)
- ・燃料例…木炭、カセットコンロ、カセットボンベは調理、暖をとるなどがあると非常に役立つ、使い捨てカイロ等)
- ・停電～通電時の火事が心配である。
- ・帰宅時の避難場所が不明である。
- ・近所に誰が住んでいるのか、不明である。
- ・啓発活動(東京防災等)で知識はあるが、行動に移すのが難しいため、行動してみるキャンペーンを実施したらどうか。(171体験キャンペーン、地域とのマッチング訓練等を単発でもいいから、実施してみる)
- ・(団地)高齢者世帯、若年世帯と二極化していて、コミュニケーションの弱さが懸念されている。(R6)

■地区としての今後の取り組みの方向性

①けがをしないために出来ることを把握し、地域に周知する。

- ・けがの防止策を講じる。
Point…避難生活の以前の問題として、災害直後に死なない、けがをしないことが何より重要である。
- ・避難方法を事前に決めて置く。
◆避難方法例…各種避難場所の確認、安全な避難口の確保、年代別マニュアルの作成等
Point…□震災時に助けてもらう為に、近所付き合いをする。
□自分の過ごしている、各場所で検討する必要がある。

②備蓄の正しい知識を周知していく。

- ・備蓄は、個人単位で一週間分以上準備する。

Point…□日常生活で普段使う物を、+α少し多めに用意しておく。

□備蓄品は保管場所を決め、年に一回はチェックをする。

□宅配を利用して備蓄の負担を少しでも軽減する。

- ・非常持ち出し用袋を準備する。

Point…□一人一つの持ち出し袋を持つこと。

□いつでも使えるところに準備する。

- ・燃料の準備が重要

③家族のルール/安否確認の方法を周知していく。

- ・避難ルールを決めておく。

◆ルール例…家族の集合場所は混雑が予想されるような場所は避ける(避難所等)、広域避難場所のワンポイントを家族ごとに決めておく、被災地以外で集合できる場所を決めておく、家には無理に帰らないと決めておく等

- ・連絡手段を決めておく。

◆手段例…田舎を中継地点として連絡を取り合う、高層マンションは隔離しやすいため、事前に情報の共有方法を決めておく、連絡は落ち着くまで取り合わない、災害時伝言ダイヤ 171 等

Point…回覧で周知するなどして、実際にキャンペーン的にみんなで体験してみる。

- ・事前の準備をしておく。

◆準備例…たんす預金等で現金を手元に用意、避難所の確認、子どもがいつでも逃げ込めることを頼める関係作り、子どもには写真、連絡先を持たす、日頃より敬愛活動をし、顔見知りを作る等

Point…日頃の活動が震災時には重要になってくる。

日頃からの備えは、災害が起きてからでは遅く、文字通り平時(事前)の準備に掛かっている。

そのため、1人でも多くの地域の方に取り組んでもらうためにも、周知が大事である。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・建物の耐震診断を実施し、必要であれば補強を検討する。【給田西住宅管理組合】
- ・理事会での D 型ポンプ操作訓練を継続していく。【給田西住宅管理組合】
- ・高齢者を対象に、世田谷区が実施している HP の案内、家具転倒やガラス飛散防止など、マニュアルの作成及び各家への回覧、発災3日までの備蓄品リストの作成及び各家への回覧、伝言ダイヤル等通信手段の照会および各家への回覧。【給田西住宅管理組合(R6)】
- ・助成金、会費により購入した備蓄品を早期に住民に移譲し、在宅避難のための備蓄の一助とする。【給田南住宅自治会(R6)】
- ・冊子『東京防災』などを活用した防災知識の普及啓発を、実施していく。【烏山上町会】
- ・非常用持出袋(中身の基本避難生活便利グッズ等を精査)を、紹介し準備してもらう様にする。【烏山上町会】
- ・各世帯での備蓄を、チラシを掲示するなど働きかける。【コーシャハイム千歳烏山住宅自治会(R6)】

- ・3箇所の町会防災倉庫に、水、アルファ米、簡易トイレ、ヘルメット等を備蓄している。今後も備蓄を充実させていく。【烏山中町会】
- ・町会防災倉庫に薬品、ジャッキ、ポンプ、燃料を備蓄している。今後は未配備の水、食料等の備蓄を充実させていく。【親和会、烏山北住宅自治会】
- ・会員同士、家庭内での話し合いを行うよう回覧などで呼びかける。【親和会(R6)】
- ・地区防災訓練への参加を呼びかけていく。倉庫に備蓄している物質の充実をはかっていく。【北烏山青葉団地管理組合(R6)】
- ・北住宅は数年後、改築予定の為、新たな機器、機材をそなえることは困難なため、現状を維持する方向。【烏山北住宅自治会(R6)】
- ・定例会時などに備蓄の使用訓練を実施。【烏山北住宅賃貸自治会(R6)】
- ・マグネットシートを作成してドアの裏面に貼るようにしている。今後も活動の継続・周知を徹底する。【北烏山みむね管理組合】
- ・家族で事前に確認等の電話番号を決めておく。【北烏山みむね管理組合(R6)】
- ・持ち出し袋を必ず用意する。特に日常時の必需品1週間分位家族間で緊急時の集合場所の確認をする。特に高齢者、障害者への配慮が必要である。家族の安否確認を検討して、出来るだけ地域で周知していく。【烏山下町会(R6)】
- ・家族のルール/安否確認を検討し、町会として周知する。【烏山下町会、千駄山町会】
- ・町会の会員数を増やすように努める。【児ヶ谷会、コーシャハイム芦花公園自治会、芦花公園団地自治会】
- ・マンホールトイレを実際に使用できるよう整備する。【コーシャハイム芦花公園自治会、芦花公園団地自治会】
- ・町会で新たな備蓄物品を購入する時は会費を募り、その物品を使用した訓練を町会独自で実施している。今後も備蓄の呼びかけを推進していく。【児ヶ谷会】
- ・備蓄する方法・場所・備蓄物品についての検討・充実化を図る。【コーシャハイム芦花公園自治会、烏山下町会、千駄山町会】
- ・当団地は 14 階の棟もある。室内家具の転倒防止について住民にはたらきかけている。【芦花公園団地自治会(R6)】
- ・マンションとしては毎年更新、増備している(備蓄)。安否確認は通電していれば管理員室からのインターホンで随時確認することになっている【パークアベニュー芦花公園自治会(R6)】。
- ・各階エレベーターホールに食料、防災備品等の備蓄を考えている。【日商岩井北烏山マンション管理組合(R6)】
- ・コロナ禍以降、会議後の懇親会が開催されなくなり、住人間の情報交換がなくなった。住人の状況把握ができなくなっている。【日商岩井北烏山マンション管理組合(R6)】
- ・年 1 回の防災訓練を実施しており、その訓練を通して各家庭の防災意識を高めるための啓発活動を引き続き努める。【烏山南住宅団地管理組合法人防災会(R6)】
- ・備蓄品を各家庭と管理組合のトータルで考え、実行的な防災対応を目指して必要な備品の管理、更新を行う。【久我山ガーデンヒルズ管理組合(R6)】
- ・防災訓練等を通じて防災知識の向上を図る。【久我山ガーデンヒルズ管理組合(R6)】
- ・各会員とのメールを利用した安否確認を行う。【烏山駅前通り商店街振興組合地域防災部(R6)】
- ・自治会では多少の備蓄があるが、全てそろえるのは難しい。震災時声かけてもらう近所付き合いが大事である。各自が備蓄し、家族への安否等、日頃から説明し、協力してもらう。【区営北烏山8

丁目アパート自治会地域防災部(R6)】

- ・防災マニュアルの検討と整備【芦花公園パーク・ホームズ管理組合防災本部(R6)】
- ・管理組合として防災用品を備えている。【ネオコーポ芦花公園防災委員会(R6)】
- ・防災計画書の周知を定期的に行う。【ザ・パークハウス千歳烏山グローリオ管理組合(R6)】
- ・建築基準法による耐震性能が確保されていることを前提に、在宅避難を想定する。そのため、必要な防災機材を区及び公社(団地所有者)の支援により入手し、団地内防災倉庫に保管している。【コーシャハイム久我山防災会(R6)】
- ・各住戸内での防災対策は各住戸にて行う前提だが、防災会としての対策の実施を推奨してゆく。【コーシャハイム久我山防災会(R6)】

課題2 在宅避難者対策

■意見

- ・自分の安全を確保した上で、近所の安否確認が大事である。
- ・一人世帯が被害にあった場合(家具等の下敷き、ドアの開閉)の確認方法についてどうするか。
- ・災害時のライフライン断絶後の区民への連絡手段を確立しておきたい。
- ・道路が通行不能な場合を考えておきたい。
- ・在宅避難の知識(特に備蓄知識)が不足している。
- ・食料、テント、寝具等の備えが不足している。
- ・防災行政無線の用途を知りたい、周知したい。

■地区としての今後の取り組みの方向性

①平時から周囲の人とのコミュニケーションを図れる機会を作る。

- ・日頃からの近所のコミュニケーションから始める。
- ・地域のイベント等を通じて、日頃からの顔見せ(知り合いを増やす)をする。

②情報伝達手段は複数の手段を確立する。

- ・正否が不明な情報に惑わされず、正しい情報を伝達する方法を予め決めておく。
- ・区、町会の掲示板を活用する。
 - ◆例…物資、避難所、ライフラインの最新情報等
- ・情報は細目化する。
- ・情報入手方法を周知する。
 - ◆例…定期的な掲示、各自見に行く、掲示板を見た人(地域の当番)からの周知
- ・烏山区民センター前広場を情報提供の拠点として整備する。

③在宅避難における正しい知識を習得、周知する。

- ・在宅避難の方法として、自宅避難生活ができる人は、自宅で生活することを周知する。
 - ◆例…トイレに水を流す時は、排水接続の確認が出来るまで流さない、在宅避難者の内、無事な人には、自宅から地域で統一された目印を掲示してもらう。
- ・避難所には何も無いとPRする。また、デメリットが多いため、日頃備蓄しておくべきものを把

握しておく。

- ・日頃の備え(備蓄等)をすることが重要と、PRする。
- ・町会独自に、必要な備蓄物品を確保するための倉庫を準備する。
- ・物資伝達方法のマニュアル作成を検討する。
- ・避難所に届いた支援物資の配給システムを創る。

◆例…備蓄物資の配分ルールを整備しておく。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・給田小学校で保護者や地域の方を対象に実施している、防災講座を継続し、在宅避難の方法等を周知していく。【給田西住宅管理組合、給田小学校 PTA】
- ・広報による啓蒙活動を実施する。【給田西住宅管理組合(R6)】
- ・集合住宅における在宅避難の安全性確保の目安について、避難所(小学校など)開設時の安全点検を参考にする。【給田南住宅自治会(R6)】
- ・在宅避難する為に必要な物品(水・食料・簡易トイレなど)の備蓄を推奨するなど防災知識の普及啓発を実施していく。【烏山上町会】
- ・町会名簿(改定版)の作成を進める。【烏山中町会、親和会】
- ・町会全戸に簡易トイレの配布を実施していく。【烏山中町会】
- ・日頃の備えとして一番の心配はトイレであると認識。【烏山寺院連合会(R6)】
- ・災害時に対応できるように、敬老の日に75歳以上の方にお祝い品を届けるような活動を今後も継続する。【親和会】
- ・高齢者の一人住まいの確認を進めたい。【親和会(R6)】
- ・食料備蓄に関しては、各家庭で取りくむよう啓発していく。住民名簿(携帯電話番号)は、常に新しく掌握している。(分譲団地のため、管理組合として、管理している)【北烏山青葉団地管理組合(R6)】
- ・町会全戸に毎年1回、水、ビスケット、簡易トイレの配布を今後も継続していく。【烏山北住宅自治会】
- ・消防、識者の講演を計画予定。【烏山北住宅賃貸自治会(R6)】
- ・水や非常食等の準備。【北烏山みむね管理組合(R6)】
- ・プライバシーに配慮しながら、興味・趣味等のツールを活用し、町会のイベント等に参加してもらい、日頃から交流を図る。【烏山下町会、千駄山町会】
- ・まずは各自宅の安全度を確認する。(特に土地の液状化、建物の強度)。日常時の生活用品、トイレ、食料品等の備蓄量を考えて用意する。近所付き合いを密にして顔なじみになる事。町会活動に積極的な参加。避難所、ライフライン等との連絡を取る、又、活用する。【烏山下町会(R6)】
- ・町会内のコミュニケーションを図るために、日頃からできるような回覧・敬老の日などのイベントで祝い品の贈呈・町会総会等を積極的に活用する。【児ヶ谷会】
- ・町会独自で作成している「安心連絡網」の加入促進に努める。【コーシャハイム芦花公園自治会】
- ・防災訓練で非常用トイレ(凝固剤、消臭剤)の実演を行い、用意をはたらきかけている。防災倉庫には食料、水の備蓄がないことを案内し、各戸での準備をはたらきかけている。【芦花公園団地自治会(R6)】
- ・町会独自で作成し、既に自治会全戸に配布している「安否確認カード」の周知を徹底する。【芦花公園団地自治会】
- ・住民に対しては推奨しているが、高齢者も多いため確認が必要。【パークアベニュー芦花公園自治

会(R6)】

- ・マンションとして主に高齢者の一人住まいの方を中心に災害時には直ぐに連絡をとれるように日頃から声掛けを行っている。【日商岩井北烏山マンション管理組合(R6)】
- ・各家庭の震災時の備えを支援するために全世帯に対して防災カタログギフトを配布されたことを契機に各家庭に対して、在宅避難を基本として 1 週間程度の備蓄を進めるべく啓発に努める。【烏山南住宅団地管理組合法人防災会(R6)】
- ・区役所等とも連携し、在宅避難についての知識の普及啓発に努める。具体的には防災訓練時にリーフレットを配布する。【久我山ガーデンヒルズ管理組合(R6)】
- ・防災訓練実施時に「防災まつり」イベントを開催し、「防災」を軸に居住者間の交流を図る。【久我山ガーデンヒルズ管理組合(R6)】
- ・数に限りがあるが飲料水の配布。【烏山駅前通り商店街振興組合地域防災部(R6)】
- ・入居者に会議に参加してもらい、備蓄の物品の配布等説明。【区営北烏山8丁目アパート自治会地域防災部(R6)】
- ・烏山総合支所作成の資料等を配布、周知。【芦花公園パーク・ホームズ管理組合防災本部(R6)】
- ・簡易トイレの確保、旧受水槽にて水の確保を行っている。【ネオコーポ芦花公園防災委員会(R6)】
- ・防災計画書の周知を定期的に行う。【ザ・パークハウス千歳烏山グローリオ管理組合(R6)】
- ・在宅避難に必要な備蓄は、各住戸が宅内に準備することを想定し、その旨広報する。又、備蓄の推奨品目、量について参考資料を広報する。【コーシャハイム久我山防災会(R6)】
- ・防災会で所管する防災資機材のリストは各住戸に配布しており、今後その管理運営や試運転など居住者参加で実施し、団地内に資機材の存在と利用法を周知するよう計画する。【コーシャハイム久我山防災会(R6)】
- ・避難所と同等の支援物資配給が受けられるよう、システムの構築が必要と考えている。【コーシャハイム久我山防災会(R6)】

課題 3 避難行動要支援者・要配慮者・けが人等の対策

■意見

- ・情報がないため、所在が不明である。
- ・プライバシーの問題がある。個人情報保護を盾に要支援者の情報が得るのが困難である。
- ・実態を町会、地域でどう知っておいたらよいか。
- ・日頃からの見守りが重要である。
- ・自治会防災組織に本当に見回りはできるのか。
- ・様々な要支援者(歩けない人、高齢者、けが人、高層ビル在住者)にどのように対応するか。
- ・特別な対応をするために必要な物品をどうするか。
- ・(団地)管理会社から居住者情報が提供されず苦慮している。(R6)
- ・高齢化が進み、対応出来る人材が少なくなっている。(R6)

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①災害時避難行動要支援者・要配慮者に関する協定対象者を意識した行動をする。
 - ・敬老の日などを利用して、お祝い品の配布時などに、現況を聞き、情報を更新する。

- ・会費を集めるときなどを利用して、情報を入手する。

②支援方法に関して検討する。

- ・要支援者等の近隣の方及び地区の担当を決めて対応する。
- ・応急救護訓練の積極的な参加、ヘルプカード、安心カード等の活用をする。
- ・要援護者の安全が確保されている場合は、自宅のベランダからタオルを垂らしてもらうなど目印を出す。
- ・町会、自治会のイベント、日常生活を通じて、コミュニケーションを図っておく。

③支援する側の人手を確保する。

- ・町会、自治会に加入するメリットをイベント等を通じて伝えていく。
- ・地域の若い世代に対して、地域のイベントや避難所運営訓練などに積極的に参加してもらい、近所の輪を広げておく。
- ・若いマンパワー(学生、ボランティア等)を活用できる仕組みを創る。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・年1回の団地行事にて実施している名簿の確認を継続する。【給田西住宅管理組合(R6)】
- ・団地内でエリアを決めて、「見守り隊」が様子を見に行くルールを継続していく。【給田西住宅管理組合】
- ・要救助者の所在を示すホイッスルやブザーの購入、配布を検討【給田南住宅自治会(R6)】
- ・若い世代による協力が無ければ実施不可能であるため、小・中学校、PTAの協力が得られるよう働きかけていく。【烏山上町会】
- ・ペット同行避難者、乳幼児を抱えた避難者などの、災害弱者と言われている方々への対応策も検討し普及啓発していく。【烏山上町会】
- ・災害時避難行動要支援者・要配慮者に関する協定を既に締結している。【給田西住宅管理組合、あやめ会、親和会、烏山北住宅自治会、千駄山町会、児ヶ谷会、パークアベニュー芦花公園自治会】(R6 修正)
- ・日頃からの声かけを進める【親和会(R6)】
- ・住民の家族構成等を、古くから住んでいる住民、民生委員と情報を共有するよう努めていく。【北烏山青葉団地管理組合(R6)】
- ・役員の避難時の行動訓練【烏山北住宅賃貸自治会(R6)】
- ・敬老の日などのイベントを通じて、日頃から見守り活動を実施する。【烏山下町会、千駄山町会】
- ・福祉作業所と連携・協力関係を築いていく。【烏山下町会】
- ・下町まつりを活かして地域の活動人口を増やしていく。また、一層の地域の活動人口増加のため、中学生等をイベントのボランティアとして募ることを検討する。【烏山下町会(H29)】
- ・プライバシー保護の為、情報が少なく確認が難しい。地域としては 日頃からの見守りと民生委員等の情報を得る。当地区では毎年敬老の日にお祝い品を送ると同時に自己申告を頂く。【烏山下町会(R6)】
- ・安心カードの普及に努めている。また、日頃からのコミュニケーションを図っていく。【千駄山町会】
- ・災害時避難行動要支援者・要配慮者に関する協定締結に向けての活動を進める。【コーシャハイム芦花公園自治会、芦花公園団地自治会】

- ・名簿があるが緊急時以外は開かないことにしている。怪我人等の対策は特に考えている。各自でやっていただく。【パークアベニュー芦花公園自治会(R6)】
- ・日常生活では補聴器を耳から外して生活している難聴者がいて、電話が通じないため玄関ドアの新聞受けにメモ等を入れたりする連絡方法を行っている。【日商岩井北烏山マンション管理組合(R6)】
- ・各家庭より家族構成等の名簿の提出の協力要請をしており、提出された名簿に基づき、各家庭の状況の把握に努めている。【烏山南住宅団地管理組合法人防災会(R6)】
- ・安否確認・避難支援が迅速かつ円滑に行われるために避難行動要支援者本人及び家族が、災害時における自助・共助の重要性についての認識をもってもらべく日頃より災害に備えた準備・行動について啓発に努める。【烏山南住宅団地管理組合法人防災会(R6)】
- ・マンション管理室とも協働し要支援者の把握と管理組合理事会活動を通じて災害時の柔軟な対応を可能とする下地作りを行う。【久我山ガーデンヒルズ管理組合(R6)】
- ・支援時に必要な備品を適切に管理、更新する。【久我山ガーデンヒルズ管理組合(R6)】
- ・商店街は来街者も多く有事の際、避難誘導が課題。【烏山駅前通り商店街振興組合地域防災部(R6)】
- ・自治会等を通じて、会議に参加し、避難所訓練に参加してもらう。【区営北烏山8丁目アパート自治会地域防災部(R6)】
- ・避難行動要支援者や要配慮者の実態把握と支援を理事会にて継続検討。【芦花公園パーク・ホームズ管理組合防災本部(R6)】
- ・名簿の充実を図っている。【ネオコーポ芦花公園防災委員会(R6)】
- ・防災計画書の周知を定期的に行う。【ザ・パークハウス千歳烏山グローリオ管理組合(R6)】
- ・車いす等を防災資機材として用意している。防災会の活動人員不足のため、現状ではこの件への人的対応は困難な状況にある。【コーシャハイム久我山防災会(R6)】

課題 4 避難所運営

■意見

- ・避難所運営本部員だけでは、人手不足で運営ができない。
- ・避難所では、避難所運営に協力してくれない避難者の取扱いが困難である。
- ・避難者が交流を図れる場(ラジオ体操等)を設け、コミュニティ分断の軽減・集団意識の創出、また、健康に過ごせるよう心がけると良い。
- ・避難者は2、3日経つと、要望や不満を強く主張する可能性があるため、みんなが避難者という意識作りや、ルールの周知を徹底する。
- ・不足している物品が多くある。
物品例…防災ベスト、マンホールトイレの水汲みポンプ等
- ・消火器や消火栓の場所を知らない人が多い。
- ・ペットは避難者スペースと共同で生活できない・犬猫以外のペットの問題をどうするか。
- ・町会や地域で防災に関する基礎知識や情報確認の手法をどのように行うか。
- ・マンホールトイレ、仮設トイレの訓練が不十分である。
- ・マンホールトイレの水貯めは手動では大変である。
- ・担当する避難所まで行けるか。

- ・マンション内の会議室等を避難場所として検討したいが、スペース上、プライバシーの関係上(間仕切り等)難しい。(R6)
- ・新しい方に避難所運営に携わってもらえるよう、どう促していくか。(R6)
- ・自治会として対策本部を設置する中、避難所の運営に人を出せるか自信がない。(R6)

■地区としての今後の取り組みの方向性

①避難所内における協力体制を構築する。

- ・協力してもらえそうなこと(運搬、設営、確認作業など)を確認し、周知する。
◆例…マンホールトイレの運営、清掃活動、自宅から水、食料の持ち寄り等
- ・運営側、避難者側問わず、自主的に動く仕組みを検討する。

②平時～避難所運営時は、ルールを整え地域の人に周知する。

- ・生活する上で、新たに決定しなければならない事項は協議で決定する。
◆例…部屋割り、プールの水の活用方法等(浄化して飲料にできないか)
- ・避難所に関しての広報は正しい情報と共に、避難所はできる限り利用せず、在宅避難を勧める広報を併せて行う。(公助は遅い。避難所では支援されるだけでなく、支援もしないといけない。在宅避難のメリット(避難所生活のデメリット)を事前にPRする、疎開した方が安全等)
- ・避難所の概要の周知のため、事前に避難者カード等を作成、配布する。

③協力団体を検討し、協力者を募る。

- ◆例…一時的に避難所や倉庫にできる施設等に交渉を図る。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・給田小、烏山小について、町会役員より出席者を募って行っています。【給田町会(R6)】
- ・避難所でのボランティアを増やすため、出来ること別に色分けした「できますゼッケン」を作成したため、今後も避難所運営訓練で活用し、周知していく。【給田西住宅管理組合、給田小学校PTA】
- ・給田西住宅内広場周辺等を一時集合所とする。【給田西住宅管理組合(R6)】
- ・今現在避難所運営訓練に携わっている人は今後も訓練を継続してもらう。また、若い世代の人員の確保に努め、訓練に参加するよう促していく。【烏山上町会、烏山下町会、千駄山町会、児ヶ谷会、コーシャハイム芦花公園自治会、芦花公園団地自治会】
- ・災害時の訓練について検討を進めながら、訓練を今後も継続していく。【烏山中町会、親和会、烏山北住宅自治会、北烏山みむね管理組合】
- ・他団体(町会、自治会)との協力体制をととのえる。【親和会(R6)】
- ・現在避難所運営に携わっている方には、今後も継続して参加してもらいたい。【北烏山青葉団地管理組合(R6)】
- ・当地区では芦花小中、武蔵丘小の2校にまたがっているので統一がしにくい。運営委員も分散しているが、夫々に頑張っている。出来れば高齢者の役員が多数なので若手、高学年の学生、生徒の協力が必要。【烏山下町会(R6)】
- ・地域の避難所運営訓練には参加している。訓練参加メンバーが緊急時に集合できるかは不明な

- ので、誰でも運営できるようなマニュアルが必要と感じる。【パークアベニュー芦花公園自治会(R6)】
- ・災害用トイレ、テントの更新(使わないうちに劣化する。相応に高額)。【久我山ガーデンヒルズ管理組合(R6)】
 - ・有事の際は当ビル 2 階、4 階の会議室を避難所として解放。【烏山駅前通り商店街振興組合地域防災部(R6)】
 - ・集会所に 50 名位入室。敷地内にミニ公園あり、浄化槽トイレの設置ができる。敷地内にミニテント張ることができる。【区営北烏山8丁目アパート自治会地域防災部(R6)】
 - ・マンション内の芝生広場を想定している。【ネオコーポ芦花公園防災委員会(R6)】
 - ・在宅避難を想定しているが、団地内で在宅避難が困難な状況の住戸が出た場合のサポートとして、団地内1階の「コミュニティーサロン」の活用の可能性が考えられる。今後検討してゆきたい。その場合、避難所同様にプライバシーの確保等の課題が考えられる。【コーシャハイム久我山防災会(R6)】

